

りつめい

題字・末川 博名誉総長

立命館大学校友会報

R Alumni

立命館大学校友会

NO.
244

2011
APRIL

巻頭企画
川口総長・山中校友会会長対談
ボーダーを超え、
世界を舞台にした人材育成を



Brilliance
輝くひと
76

言葉で言い表せないもの、書で伝えたい
書家 華雪さん(98文)

R Alumni

りつめい No.244 / 2011年4月号

発行所 / 立命館大学校友会 / 年4回発行

発行人 / 山中 諄

編集人 / 中村和歳

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1

Tel. 075 (813) 8216 Fax. 075 (813) 8217

URL : <http://alumni.ritsumeijp>

E-mail : alumni@st.ritsumeijp

03 巻頭企画

川口清史総長・山中諄校友会会長対談

Borderを超え、
世界を舞台にした人材育成を

SPECIAL

01 輝くひと

華雪さん

08 Ritsumei Interview

裏方の世界一に

株式会社トーセ代表取締役社長兼C.E.O.
齋藤 茂さん

12 校友会会長を訪ねて

鹿児島県校友会会長 福元寅典さん
岐阜県校友会会長 成瀬 正さん

14 校友会報からひととく校友会の歩み

15 校友会ネットワーク

16 校友NEWS

オール立命館校友大会2011in京都のご案内
新校友歓迎会のお知らせ

18 都道府県校友会・学部校友会連絡先一覧

20 立命館はご卒業後もあなたのそばに

22 立命館のゼミナール訪問

政策科学部 石原一彦 教授
理工学部 日下貴之 教授

24 学生イベント&スポーツ

26 キャンパストピックス

29 +Rな人

内藤洋平さん



30 INFORMATION

31 編集室から

|表紙の|人|

書家
華雪さん
(98文)

言葉で言い表せないもの、書で伝えたい

筆を握り、紙に向かうと、部屋中の空気が張り詰めた。小さく息を吸ったその瞬間、己の全てを叩きつけるかのように、真っ白な紙の上に筆を走らせた。

個展での作品発表を中心に、店舗ロゴやシンボルマーク、小説の題字デザインなど、書に関する幅広い創作活動で注目を集める若手書家。息を呑むほどの集中力で創作する姿は、普段の穏やかな雰囲気からは想像もつかないほど激しく、見る人を圧倒する。

書との出会いは5歳の頃。自宅近くの書道教室で、「字の背景を調べ、その字を自分がどうして今、書きたいのかを考えて書きなさい」との教えの下、型にはまらぬ書に親しんだ。高校から大学を通じてほぼ毎年個展を開催。友人たちが就職活動を始めた頃、「卒業までに字を書く仕事を1本でも取ってることが出来たら就職しなくてもいい」と母親に言われ、その言葉に応えるかのように舞い込んだ仕事が、書家としてのスタートとなった。

しかし、本当の意味でこの道を歩み始めたのは26歳の時。知人の「書って何?」という問いかけが、字を書くことへの思いを気付かせてくれた。「小さな頃から書があまりにも身近で、書が何なのか、書を通して何を伝えたいのか考えたこともなかった。私は、言葉で言い表せないもの、自分自身を書で伝えたい。字を書くことを仕事にしようと、この時ははっきりと思いました」

日常生活でも「ほとんど四六時中」書くことを考えている。自身の中でもややよとしていた何かが、ある日ふと文字になって現れる。その文字について納得出来るまで半年、1年と考え続け、愛用する白川静の字典を何度めめくる。そうして答えが出た時、ようやく筆をとる。ここ数年は、暮らしの中で心に引っかかったものを日記のように書きとめるようにもなった。「その時、その場所から生まれる書がある。何が出てくるかわからない、今しか書けないものにも挑戦したい」。漢字だけでなく、新たにひらがなも題材にし、さらに創作の幅を広げている。

書の活動と並行して篆刻も手がける。「私にとって、書とは『時』を書きとめる行為。そして書いている時の記憶がないくらい主観的なもの。一方篆刻は、彫り進めるほどに冷静になる客観的なもの。対極にある二つの行為が存在することで、ちょうどバランスがとれている。たくさん書を書いている時、一つ篆刻を作ると客観性ができ、書きとめている一連の時が一つにまとまる」。書と篆刻は、互いに引き合う、なくてはならないものなのだ。

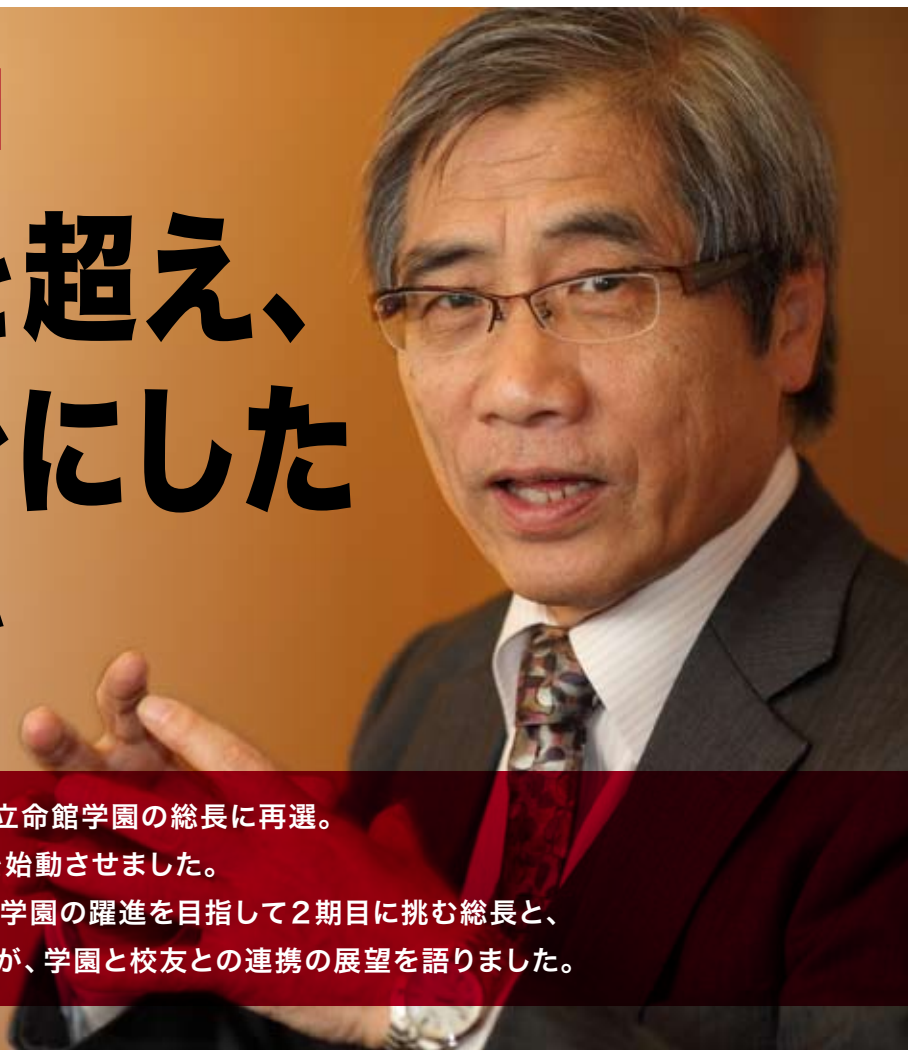
今、仕事として一番楽しんでいるのは小説の題字デザイン。現在、集英社が刊行を予定する戦争文学の全集を手がけている。「内容が深くなるほど、自分の作品も深みを増していく。小説の世界を飲み込み文字にする、この仕事によって自分の引き出しが増えた気がします」。30年近く書を書いた今、再び入り口に立つような気持ちに帰っている。「『字を書く人』がやるべきことをもう一度探してみたい」

www.kasetsu.info

(写真・小幡豊 文・平松万知)

川口総長 2期目始動

Borderを超え、 世界を舞台にした 人材育成を



昨年実施された総長選挙で、川口清史総長が立命館学園の総長に再選。

今年1月に2期目の就任を迎え、新しい体制を始動させました。

1期目における数々の改革をさらに発展させ、学園の躍進を目指して2期目に挑む総長と、学園と固い絆を築いてきた山中諄校友会会長が、学園と校友との連携の展望を語りました。



対談

川口清史
総長

山中 諄
校友会会長

困難を伴った改革の成果

会長 ◆この度はご再任おめでとうございます。これまでも校友会との連携にご尽力頂いてきた総長と、再び絆を深めることが出来るかと嬉しく思っております。総長のご就任1期目の間に学園は多くの発展を遂げてきました。

総長 ◆この4年間、関係者が調整を重ねた結果、素晴らしい学部・研究科が設立されました。長田前総長が長年準備されてきた生命科学部と薬学部という理工系学部の拡充が実現し、スポーツ健康科学部が新設されました。スポーツ健康科学部は、新しい研究分野を広げるためだけでなく、立命館のスポーツを一つ上の段階に引き上げたいという思いで開設しました。今後さらに体育系各クラブとのつながりを強化していく必要がありますが、すでに女子陸上競技部が低酸素室を練習に使用するなど、同学部の研究とトップアスリートの養成という実践がおおよそ結びついてきています。

大きな成果としては、文部科学省などが主導する国際化拠点整備事業「グローバル30」に立命館大学が採択され、国際的な評価を得ることが出来ました。現在は1000名ほどの留学生が本学で学んでいますが、短期の留学プログラムを一層充実させ、およそ4倍もの留学生を迎える準備を着々と進めています。

もう一つは、昨年1年をかけて、2020年の立命館像「学園ビジョンR2020*」についての案をまとめ、それを実現する条件を整備するために大阪・茨木市にキャンパス用地を購入したことです。

就職率とロースクールのレベルは関西の私学ではトップ水準を維持しており、偏差値も上昇しています。これは、卒業生の評価の高まりにもつながりつつあります。

4年の間には、学内の意見の違いが表面化するという苦しいこともありました。これについては、理事長と一緒に丁寧に学内の意見を聞き、学内のベクトルを一致させるよう努力してきました。厳しい議論もありましたが、それを乗り越えて新しい学園を作っていくと今では皆が同じ方向を向いてきています。

会長 ◆いろんな出来事がありましたが、改革を続けていく中で学内外を問わず努力をされたと私たちも評価しています。どうかその流れを止めることなく、これからも改革し続けて下さい。

*学園全体が、学園の理念である立命館憲章を踏まえて2020年にどのような学園を目指すのかという将来像を示すもので、学生や教職員、卒業生といった学園に関わる方々の参画のもとで作り上げていくプロジェクト。

世界を視野に、多様な学力を持つ学生の育成を

会長 ◆それでは、2期目にあたって目標とする学園像をお聞きしたいと思えます。今年初め、総長は、教育と研究の場としての学園の意義を立命館憲章の視点に立ち返って明確にされましたね。

総長 ◆「立命館は、アジア太平洋地域に位置する日本の学園として、歴史を誠実に見つめ、国際相互理解を通じた多文化共生の学園を確立する」と立命館憲章に謳われているように、「アジアの中で世界を見据えて多様な学力を持った学生を育てていこう」というのが立命館の精神です。私たちはこの精神の下に、APUの開学をはじめとした新しい教育の取り組みを進めてきました。今、その取り組みが内外から高く評価されています。最近「グローバル人材」という言われ方をするようになりましたが、私たちが目指してきたことがようやく社会的に認識されてきたという思いです。APUの日本人学生がどのような点で評価されているかというと、外国人との問題を受け止めながら信頼関係を築いていく力があるということです。サークルやボランティア活動の中で外国人留学生との間の様々なトラブルを解決してきた経験から、社会に出てからも異文化間でのトラブルを怖がらずに対処できるのです。

会長 ◆APUの様子は私も見に行きましたが、本当に各国・地域の

学生が混在して生活している。生きた語学を学べる環境ですね。

総長 ◆外国語が生活そのものになっていますからね。今年のAPU一般入試志願者2000名強のうち約6割が、国際学生と国内学生が共同生活を営む学生寮「APハウス」に住むことを希望していました*。

*2011年2月19日現在
グローバル30では留学生の受け入れ環境の整備を重点課題の一つとしていますが、単に多くの留学生を受け入れられる環境であれば良いというわけではありません。「立命館の学生が留学生と共に学ぶことができる環境」でなければなりません。つまり、学生が留学生とコミュニケーションを図りながら一緒に何かを経験する場ということです。衣笠やBKCでも、留学生と生活を共にする国際教育寮を作る計画を具体的に進めています。

私たちがこれまで目指してきた国際教育の取り組みはAPUで確立されつつあります。次はその成果をR2020でどうやって学園全体に広げていこうかが課題なのです。

世界が求めるのは自ら課題を発見し解決する人材

会長 ◆そのR2020が、新しい体制の中核になると思いますが、このビジョン「R2020」が目指すものとはどのようなものなのでしょうか。

総長 ◆一言で言えば、学生から見た教育がテーマです。R2020では「教育の質の向上」を何よりも明確にしましたが、教育の質を上げるには、学生自身が学ぶ力をつけることが一番大事なのです。それを可能にする環境とはどういうものなのか。寮やサークルで、学生同士が刺激し合い、チームとなって育っていくような仕組み「ラーニング・コミュニティ」によって学生の学びと成長が実現されると私たちは考えています。そのために必要となるハード面の整備として、新キャンパスの開設と既存キャンパスのさらなる充実を進めます。

今の時代が求めているのは、世界で活躍できる、異なる文化を持つ仲間と壁を乗り越えながら手を取り合うことができるグローバル人材です。グローバル人材も、自分で課題を見つけて解決しようという気概を持つ人こそがなり得る。自ら、みんなと考え、みんなで高め合う人がグローバル人材となり、世界で必要とされる人となるのです。

R2020の目標とする取り組みとして、国際化の面では、世界との交流を進めていながらも、とりわけ中国・韓国・日本の3カ国間で、例えば立命館の学生が4年間のうちの

半年を韓国で、もう半年を中国で学び、3カ国の大学で学ぶというような環境整備を実現したい。文部科学省の日中韓の大学間交流を推進する「キャンパスアジア」構想の一つのイメージとした、立命館のオリジナルな構想です。

会長 ◆夢があっという間ですね。企業としての観点から求める人材は三つです。「知識を身につけた人」、「自己啓発をしている人」、そして「健康な人」。知識を身につけた人はやはり強い。また、時代が変化し続ける中、常に自分を磨き続けることが必要です。そして健康でなければ、いくら能力があっても発揮することが出来ません。自己管理の点からも必須です。つまり、当たり前のことを当たり前出来る人のことなのです。学園の目指す人材と、社会の求める人材には共通するところがありますね。

今、社会に出ると真っ先に英語力が問われます。英語力の中でも、実際に社会で求められるのは外国人と意思疎通することが出来る会話力。会社によっては英語で会議をするところもあります。在学中の4年間で実践的な語学力を身に付けるプログラムはぜひ確立させてもらいたい。そのような人材を輩出すれば、今後間違いなく大学の社会的な価値が高まると思います。

総長 ◆外国語教育は教養教育だという考え方もありますが、大学の外国語教育はそれだけでは不十分。社会で使える実践的

Profile



立命館総長・立命館大学長

川口 清史 (かわぐち きよふみ)

1945年生まれ。	'94年 政策科学部教授
'74年 京都大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学	'00年 教学部長
経済学博士(京都大学)	'04年 政策科学部長、政策科学研究科長
'76年 立命館大学産業社会学部助教授	'07年 学校法人立命館総長・立命館大学長、現在に至る
'87年 同教授	専門分野は経済・社会システム、経済事情および政策学
'88年 調査・広報室長	

Profile



立命館校友会会長

山中 諄 (やまなか まこと)

南海電気鉄道株式会社代表取締役会長兼C.E.O.	
1943年生まれ。	'01年 代表取締役社長
'65年 立命館大学経済学部卒業	'07年 代表取締役会長兼C.E.O.、現在に至る
南海電気鉄道株式会社入社	
'95年 取締役鉄道事業本部次長	'05年より(社)日本経済団体連合会常任理事、'09年より(社)関西経済同友会代表幹事、また、'02年より(学)立命館理事を務める。
'96年 取締役鉄道営業本部本部長	
'97年 常務取締役バス営業本部長	

な語学力をどう身に付けさせるかという使命があります。現に、TOEIC700点台、800点台を採用条件としている企業が増えています。今はそういう時代なのだということを本気で考えなければなりません。

アジアを見渡した教育を発信

会長◆これからの時代を「アジアの時代」として、世界の中でも特にアジアとのつながりを重視されています。そのような流れの中で、高等教育機関としての立命館はどのような方向性へ向おうとしているのでしょうか。

総長◆留学生を迎えるにあたって、アジア全体の高等教育をどのようにしていくかという課題があります。一つは量の課題、もう一つは質の課題です。アジアの大学の質と量をどのように整えていくかという視点を持たなければいけません。留学生を

受け入れることで、大学という高等教育機関における教育のあり方とその質とをアジア全体に発信することができる。立命館は、日本に閉じこもることなくアジアを見渡した教育を行う高等教育機関でありたいと思っています。

今秋は二つの大きな国際会議が控えているのですが、日中の代表的な大学・機関が集まる日中学長会議では、立命館大学と京都大学がホスト校を務め、大学のあり方や質の議論をするつもりです。また、私が日本側の座長を務めている日韓文化交流会議でも、

大学に関しての話し合いが持たれる予定です。立命館の教学の成果が評価され、中国や韓国だけでなく、マレーシアやインド、エジプトなどからも教育システムを構築するための協力要請を受けました。ベトナムのハノイでは、立命館をはじめとした日本の五つの大学が連携して大学づくりに協力しています。このようなことから、アジアの大学づくりにおいて立命館が大いに力を発揮しなければいけないと感じています。

立命館独自の教育が日本の教育に影響を与える存在に

会長◆総長が進めてこられた取り組みで大きな成果を挙げているものに「総合学園づくり」もありますね。年々附属校も充実し、立命館の社会的存在感は高まっています。

総長◆大学という高等教育はそれ以前の段階における教育に大き

く影響されるものです。日本の教育は受験勉強を経なければ学習することが出来ないようなシステムになっています。しかし受験勉強こそ、基本パターンを押さえたら通用してしまう、最も後進的な学習方法です。自分で課題を発見して解決する、それをチームで行うことが出来る人材が求められている今、高校生までの貴重な時間にそのような教育を受けさせてよいのだろうかという疑問が「小中高一貫教育」に取り組んだきっかけでした。私たちにとっても一種のチャレンジで、まだ理想像を見出したわけではありません。この実験を学園内だけでなく広く社会にも発信しようと研修会などを開き、そういった場で頂戴した批判やご意見も受け止めながら立命館独自の教育が日本の教育に影響を与える存在になっていけばと考えています。私たちの取り組みには成功もあれば失敗もあります。しかし全体としては非常に良い結果を生んでいます。附属校出身者の評価はかつてよりはるかに高くなりました。特に、附属校出身者のプレゼンテーション能力の高さは一貫しており、就職に強いとの定評があります。

新キャンパスの新たな可能性

会長◆新しい茨木キャンパスの開設については校友の関心も高いところです。新キャンパスの位置づけとはどのようなものをお考えなのでしょうか。

総長◆今の大学の規模を考えた場合、新しい教学展開に取り組んだり学生のアメニティを充実させたりするには空間的なゆとりが不足しており、新しいキャンパスを作る必要がありました。京都をホームグラウンドとする立命館のあり方を変えずに学生たちの学びの環境を改善しようと模索した結果、新しい可能性を持つものとして浮上したのが茨木キャンパスでした。茨木でしたら交通の便が良く、三つのキャンパスを十分に行き来することができます。また、社会のニーズの変化が最も鋭く表れる関西経済の中心・大阪地域と連携することができます。新しい教育や、研究の課題が様々に見出されます。さらに、関西空港もありますからアジアとの距離がぐっと近付き、アジアにおける展開も含めた新しい産学連携が見出せるのです。立命館は京都を中心に置きながら、関西の復権にどう役割を果たせるかという新しい局面に入ると思います。

志望校選択の基準が「安・近・短」になっている昨今、入試志願者数の減少を何とかしたいという思いもありました。茨木にキャンパスを作ることによって、経済的な事情から京都の立命館で学ぶことを断念していた大阪近郊の志願者にも大きな可能性が開けるものと確信しています。

茨木キャンパスの開設から、立命館は新しいステップに進むことが出来ると考えています。

会長◆立命館の学生にとって、京都、滋賀だけでなく大阪という新たな学びの場を提供されるというのはやはり良いことだと思います。立命館はグローバルな活動をする大学を目指しているのですから、もはや府県単位でものを考えるような時ではありませんね。

総長◆京都で育まれた立命館のアイデンティティーは、キャンパスがどの土地にあるとも息づいていると思います。アカデミックな雰囲気は京都の大学の伝統で、BKCにある実学的な学部でも生きている。それは茨木についても変わらないものだと思いますね。

「学園のための校友」と「校友のための学園」、相互の関係に

会長◆総長のお考えがよくわかりました。私たち校友にとって、質の追求というのは本当にありがたいことです。量的拡大だけでいくと、質は落ちてくる。質なくして規模だけが膨らむというのはOBとして一番心配するところです。少子化の時代にあって、質の維持にこだわるのは難しいことですが、今後もその路線を推し続けてほしいですね。立命館の社会的な評価が上がってきているのは事実。今の学生は本当に質が良くなってきましたよ。総長と教職員の皆さんの努力の賜物ですね。

総長◆ありがとうございます。最近の学生は立命館の一員であることを誇りに思ってくれているようです。学生の評価が高まっていることは、卒業生のご協力によるところがとても大きいのです。学生が就職活動で企業を訪問すると、企業で働く卒業生が丁寧に面倒をみってくれる。このようなことは、校友の母校愛がなければ成り立たない話です。OB・OGの皆さんには本当に感謝しています。

立命館では、薬学部と生命科学部合同で薬剤師と研究者の養成に取り組み、とても良い評価を得ています。その結果、今年の薬学部入試志願者は前年度と比べて40%も増加しました*。量を追求する一方で、質も維持するという路線がどこまで実現できるかについては私も危惧を感じていましたが、新学部は量的拡充だけでなく質の向上にもつながっているのを頼もしく感じています。 *2011年2月20日現在

学園の発展には校友との連携が不可欠。これからも校友との絆をより一層強くしていきたいですね。立命館は社会のニーズに応じて様々な改革を進めてきましたが、校友こ

そが一番近い「社会」。立命館は、「社会」である校友の皆さんの役に立ちたいと思っていますし、校友の皆さんには、自分に関わる企業や部署を発展させるために立命館という資源をどう使えるかという発想で考えてもらいたいです。校友の発展のためには、大学院、社会人向け公開講座など様々な制度やプログラムを用意したいと思っています。校友の皆さんに、学園のために何かをしていただくだけではなく、自分のために学園がどのように役に立つか、「立命館」のメリットを見出してもらう、そんな関係が理想なのです。

会長◆懐が深いですねえ(笑)。そういう風に校友会も視点を入れ替えないとイケませんね。校友会としては、学園に対してもっとバックアップしていかないとイケない。これからは、校友のネットワークをどう機能させるかということが求められます。平成卒の校友が48%を占める今、若い力を校友会活動の中心に据えていく必要があると思っています。

ところで総長は最近の校友の活動でなにか注目されたことはありますか。

総長◆立命館の学生や校友が活躍しているスポーツはいつも注目しています。私がアメリカンフットボールが好きだということは皆さんもよくご存知かもしれません。今年のライスボウルは非常に複雑な思いで観戦しました。立命館パンサーズを打ち負かした社会人チームの選手はほとんど立命館のOBですから。腹が立つけど仕方ない(笑)、一つの恩返しかと。スポーツ界でも校友が影響力をもってどんどん活躍してくれるのを楽しみにしています。

会長◆総長の普段の顔も知っておきたいですね。1期目から始められたご趣味の俳句はいかがですか。

総長◆俳句は最近忙しくてなかなか作れていないのですが、続けていると言葉の感覚は鋭くなりましたね。何かに感動したら出来るのですが…。

会長◆それにしても総長は気さくな方で、そういう点では私たちは共通していると思います(笑)。遠慮なくものを言い合える関係というのはいいことですね。これからも母校が良くなるように力を合わせてやっていきましょう。

総長◆ありがとうございます。最後にこの対談を記念して一句。

「膨らみし梅や母校に思い寄せ」



裏方の世界に

株式会社トーセ 代表取締役社長兼C.E.O.

齋藤 茂 さん（'79理工）

企業を大きく成長させた 2度の転機

今あなたがハマっているあのゲームも、実はトーセの作品かもしれない——「株式会社トーセ」は、ゲームソフトやモバイルコンテンツの企画・開発を大手メーカーから受託して行う企業。これまでに生み出した多数のヒット作と、設立から31年間黒字経営を続ける健全な財務体質で、業界ではその名を知らぬ者はいないと言われる。設立時から経営側として企業をリードしてきたのが社長の齋藤茂さんだ。設立当初から変わらず、現在も自ら企画から営業まで携わっている。

齋藤 大学卒業後、父が経営していた電子機器製造の会社に入社、すぐにレジャーシステム部を任されることになりました。私が就職した79年はインベーダーゲームの全盛期。父の会社は松下電器産業（現パナソニック）の下請けの傍らでアーケードゲーム（テーブル型ゲーム）の生産などをしていたのですが、当時、アーケードゲームに対して世間のイメージは良くなかった。松下さんから「会社の真面目な雰囲気にふさわしくない」と言われ、それでは別会社でと創設されたのがトーセ。いわば松下さんのクレームから始まった会社です（笑）。設立と同時に、開発本部長としてトーセの経営を担う立場になりました。

しばらくすると世間を騒がせていたインベーダーゲームが下火に。新しいゲームを考え出そうと、毎日本屋へ通いました。そこで読んだ忍者のマンガから着想を得て企画書を作り、とある会社に持ち込んで開発を始めました。方眼紙にキャラクターの動きをひとコマずつ書いて作りましたね。ゲームはヒットし、この時から開発が終了した時点で開発金を、さらにソフトの売れた本数に応じてロイヤリティ収入をいただくという

仕組みが定着しました。そして83年、それまでのアーケードゲームの企画・開発から、クリーンなイメージの家庭用ゲームソフトの企画・開発に戦略を変更。同年、大ブームを巻き起こした家庭用テレビゲーム機『ファミコン（ファミリーコンピュータ）』が発売され、一気に仕事が増え、会社が急速に成長したのです。最初の転機でした。当時、人気ソフトのベスト10のうち半数が当社が開発に携わったものということもありました。

2度目の転機は、株式上場と同時に参入した携帯電話事業です。95年の阪神・淡路大震災の際、青年会議所のブロック会長をしていたこともあって、1年間、震災ボランティアをしました。ボランティアをきっかけに、会社にも21世紀に向けての新たな目標が必要だと株式上場を目指すことにしたのです。上場する方法を調べてみると、2000年に上場するには少なくとも3年前には準備をスタートしなければならない。だったらそこを目指してみようじゃないかと、背水の陣を引いたことで会社の気運が上がり、99年に上場することが出来たのです。それと同時に携帯電話事業に参入したのですが、『iモード』が爆発的に広まり、会社はさらに成長。設立3年目に家庭用ゲーム、20年目に携帯電話という転機を経て、現在は1000人規模の企業へと成長することが出来ました。

卓越した先見性と黒子の情報力

2度の転機の間も、『プレイステーション』や『セガサターン』など対応機器を拡大。93年には上海、01年には杭州にソフト開発の拠点として、そして03年にはカリフォルニアに欧米市場向けの営業拠点として子会社を設立。そのほか、90年代半ばにはマルチメディア時代へと備えてCGセンターを開設



するなどし、トーセは年々成長を遂げる。中国の優秀な人材を求める企業間競争の激化、ゲーム市場における欧米勢の拡大、CGなしに考えられない映像技術の発展。これら近年私たちが目の当たりにしている状況を、齋藤さんはいち早く見越して行動を起こしてきた。「たまたま時流に乗っただけ。8割は運」とざらりと受け流すが、驚くべき先見性だ。

齋藤 色々とりサーチしてから動くのが普通かもしれませんが、思い立ってから行動するのがとにかく早い。変化の速度が速いこの業界では、ちょっとした遅れがものすごく大きな遅れとなってしまいます。私は1年365日、毎日欠かさず本屋へ行き、定点観測から時代の流れをキャッチしています。パソコンや携帯電話の本など、数年前ならほんの片隅にしかなかったような本が、今では当たり前のように並んでいますよね。世間の関心がどこへ向かっていくのか、店頭に並ぶ本から読み取るのです。常に世間の動向にアンテナを立て、自分がいいと思っていたところに周りからの情報が入るとそれが確信に変わる。その情報についても、当社が自社ブランドとして前へ出ることのない「業界の黒子」に徹するという姿勢であるがゆえに、信頼できるものだけが集まってくるのです。

数々のヒット作を手がけていながら、作品に名前が出ることはないため一般的にはあまり知られていないトーセ。大手メーカーをしのぐ企画力と開発技術を持ちながら、決して業界の表に出ることはない。その企業精神は「縁の下の力持ち」。そこに企業発展のポイントがある。

齋藤 永遠に続く会社を作るためにはどうすればいいかと考えていると、「裏方で世界一になればずっと続く」という考えで固まった。業界の裏方だからこそ、お客様が持ってきてくれる情報がある。お客様がこれから何をしようとしているのか、時代の流れがどうなっていくのかということが読めるようになり、それに対してどんな人材を育てればいいのか、何人必要かを考えれば戦略を外すことがなくなる。31期連続黒字、無借金経営を続けてこられたのも、当社が業界の裏方であるからだと思っています。

会社の方針を徹底するにあたっては、その方針を社員みんなが理解していないと同じ方向に進むことが出来ないし、ましてや社員が理解していないとお客様には伝わらない。しかし、今日言ったことがすぐに相手に理解されるはずがない。5年、10年と言い続け、雑誌やテレビなどのメディアを通じ、見た

人・聞いた人から間接的に伝えられてようやく理解されるものです。こうして何年も言い続け、社内外で「縁の下の力持ち」という方針が理解されて信頼を得ることができ、企業の発展へとつながりました。

ゲームや携帯電話、ソーシャルネットワークなど、これまでに開発したソフトはおよそ1900作。現在年間100作以上を開発しています。この数はノンメーカーとしては世界で一番多い。自社ブランドで商品を出さないのかとよく聞かれますが、まったく考えていません。在庫を持たないという強みもありますが、なにより自分の決めた範囲でナンバーワンになればいいと考えているからです。裏方での世界一、それが当社の公約であり信用にもなっているので、私が存命の間はないですね(笑)。京都出身の企業には多いと思いますが、何か一つナンバーワンを持っている企業は強い。ナンバーワンであるということは、常にこちらを目指してやってきてくれるお客様があるからです。

当社のロゴマークは、成長しつづける大樹と大地に張った根をモチーフにデザインされています。根っこで成長企業を支えながらともに成長していく方向性を表し、赤いラインは「自制・節度を持って」という意味を持っています。このロゴが示しているように、「スピードを持って成長しながら、身の丈に合った行動がとれる企業」を目指しています。

マイナスをプラスに変える強さ

順調に成長を続け、好調な業績を持続。この不況にあっても黒字を守ってきたトーセのその強さは、なんとと言っても齋藤さんの前向き思考によるものだ。

齋藤 長く経営していると業績が良くない時ももちろんあります。経済が落ち込んだここ2年は最悪の時期でした。それでも利益が出ていたのはなぜか。プレッシャーをエネルギーに変えてしまうのです。上場すると外部からプレッシャーがかかりますが、当社にとってはそれがいいエネルギーになって発展した。父親譲りの気質でもあります。わたしはとにかくいつ



でもポジティブに考えるようにしています。ピンチの時には別の方向から考えてみる。自分が得をしているとすれば、損をしている人が必ずいる。逆もまた然りです。違う物の見方をすると、悪いことも良いことに見えてくる。そうするといやな事があっても、1日経てば楽になる。企業の経営において、前向きな考え方をすることというのは、簡単なようで難しく、しかもとても重要なことなのです。

裏方の掛け算でもっと面白く

08年からは、出版社4社と提携し、設立した出資会社がデジタルコミック配信サービスを開始。昨年は、CMに女装タレントのマツコ・デラックスさんをイメージキャラクターに起用した家庭用カラオケゲームの企画・開発を手がけるなど、

次々と新しい分野での展開をみせるトーセ。その躍進はとどまるところを知らない。

齋藤 家庭用カラオケソフトは複数の業者が手を組んで作り上げたもの。3年前に始めたデジタルコミック配信サービスは、大手出版社4社が提携した事業で「奇跡の出逢い」と言われました。これらも裏方であるという当社への信頼から、ライバル会社や異なった業種が協力し、実現できたものです。異業種間がコラボレーションすると少し変わった面白いものができ、より大きな力が生まれる。ゲームや携帯電話、電子書籍関係など、これからはいろんな分野を裏方として掛け算し、より大きな力にして発信していきたいですね。

「ひいき」を見つけて自らの力に

中学・高校そして大学と、青春時代の10年間を立命館で過ごした齋藤さん。世界に活躍の場を広げた現在も、自身の中に息づく立命魂を強く感じるという。

齋藤 関西では、立命と同志社が良きライバルとして競い合ってきましたが、そんな歴史の中で培われた「野武士のように這い上がって勝ちたい」という立命らしい気概が自分の中にも受け継がれているように思います。後輩のみなさんにも、立命の校友であることに誇りを持ってもらい、立命館であれ、京都であれ、自分がひいきするものを見つけてほしい。一昨年、昨年と、京都で開催されたゲームや映画、マンガなどの魅力を発信するイベント『京都CME X (クロスメディアエクスペリエンス)』では、地元京都の役に立つことをしたいという思いから、実行委員長を務めました。ひいきするものを見つけて徹底的に伸ばそうとすれば、やりがいや生きがいが見つかるはず。そして、この春から社会人として旅立つ校友の皆さんには、海外についてもっと学んでもらいたい。海外の学生は猛烈に勉強し、厳しい世間をくぐり抜けてきた優秀な人材ばかりです。そのような人々と渡り合っていけるよう、今のうちに骨身を惜しまず思い切り学んでほしいですね。

Profile



Shigeru Saito

1957年	京都に生まれる
1969年	立命館中学校 入学
1972年	同 卒業
	立命館高校 入学
1975年	同 卒業
	立命館大学理工学部電気工学科 入学
1979年	同 卒業
	株式会社東亜セイコー 入社
	株式会社トーセ 入社 開発本部長就任
1987年	同 代表取締役社長就任
1993年	東星軟件(上海)有限公司を設立
2001年	東星軟件(杭州)有限公司を設立
2006年	株式会社トーセ沖繩を設立
	現在に至る

■ 現在

- 株式会社トーセ代表取締役社長兼C.E.O.
- 東星軟件(杭州)有限公司董事長
- 株式会社トーセ沖繩取締役会長
- (財)京都産業21理事
- (社)京都経済同友会常任幹事
- (財)京都伝統伎芸振興財団理事
- 京都商工会議所常議員
- 同 サービス産業部会長
- 同 京都ブランド推進特別委員会委員長
- 同 国際国流特別委員会副委員長

鹿児島県

鹿児島県校友会会長

福元 寅典さん（'72経済）

2005年12月就任

ESSの活動に明け暮れていた学生時代、
末川杯（スピーチコンテスト）決勝出場時



「オール立命館校友会大会2010IN福岡」に
参加した校友たち



どのような学生時代を過ごされたのでしょうか。

福元 ● 学生時代に打ち込んでいたのは、入学と同時に入部したESS（英会話）の活動。ESSには六つのセクションがあり、私はディスカッションに所属していました。活動は昼食時間もあり、ラジオテキストを聞いたり、龍安寺や金閣寺に行って外国人観光客と会話をしたり、生の英語に触れる機会を多く作りました。他大学とのディスカッションでは、時事問題を主なテーマとして3時間もの討論を行うため、夕方にはその準備に、テーマの歴史的背景も勉強。まさに昼夜部活に明け暮れた学生生活でした。そのような生活を通じて、英語力だけでなく、組織と個人との関わり方を身につけることが出来たように思います。部活での経験は社会に入ってからとても役に立ちました。団塊の世代なので、就職

状況は厳しかったのですが、部の先輩たちに優良企業に就職した人が多かったのも、ESSでの経験があったからだと思います。

鹿児島は、関東の大学に進学する方が多い土地柄なのですが、私は姉たちが京都の大学を卒業したこともあり立命館への進学を決めました。11人の立命館生たちと下宿暮らしをしましたが、出身地や学部、性格も様々な人間が家族のように暮らした時間はとても貴重なものでした。充実した学生時代を過ごした私にとって、立命館はオンリーワン。立命出身であることを誇りに思っています。

九州・沖縄地区開催となった 昨年のオール立命館校友会大会は 大成功のうちに終了しました。

福元 ● 九州沖縄各県九つの校友会みんなで作り上げた大会。地方開催ならではの地域色豊かな大会ができるということを実感付けたと思います。この大会を成功させるための情熱はすごいものでした。大会としても「薩摩維新を興して、この大会を引っ張って行こう！」という強い思いがあり、参加人数など具体的な目標を掲げて「なぜこういう大会が九州で行われるのか」という会のスタンスを明確にし、それに向かって気持ちを一つにしていきました。自然体で連携できたのも、幹事会の定期的な開催や、若手や女性校友への呼びかけなど、常日頃の積み重ねがあったからだと思います。大会を通して、九州沖縄の結束力はより強くなり、各地の校友会との新しいつながりが生まれ、大学および校友会事務局との距離も縮まりました。今大会の精神が全国の校友会に

広がってくれることを願っています。

鹿児島県校友会が目指すところとは。

福元 ● 会長に就任して6年。以来、若手や女性校友の活性化に熱心に取り組んできました。後継者の育成が目下の課題ですが、手応えは感じています。特に女性校友は元気がありますね。2、3か月に1度の幹事会にはいつも20～30名の参加があり、うち2、3割が女性校友です。

会として運営していくにはしっかりとした財政基盤が不可欠。財政基盤がしっかりしていれば活動も活発になり、人が集まってくる。当会では、会費や寄付だけに頼らず、特産品などの物品販売を行って財政を作る努力をしています。

同志社大学や関西大学、関西学院大学との交流など横のつながりも大切にし、「顔の見える校友会」をモットーに、家族ぐるみの活動を20年以上も前から続けています。校友会活動は「多忙」ではなく「清忙」。忙しい時でも参加するとほっとするような場でありたい。そして、これからも立命を愛する人を出来るだけ育てていきたい。私たち会員をつないでいるのは立命を愛する気持ちただ一つです。立命出身であることに誇りをもって社会で活躍する人がたくさん出てくれば校友会の発展も期待できますね。

<http://alumni.ritsumei.jp/kagoshima/>



福元会長

鹿児島県校友会

設立:1975年
会員数:約800名(2011年1月現在)
懇親会時期:例年11月初旬～中旬の土曜日
総会参加者数:約80名



岐阜県

岐阜県校友会会長

成瀬 正さん（'76法）

2008年6月就任

71年の移動法律相談にて（下段中央が成瀬会長）



昨年の懇親会で。新校友紹介の様子



立命館での思い出について教えてください。

成瀬 ● 学生法律相談部に所属し、法律に関する市民の悩み相談をしていました。3回生には社会局長という重役を任せられ、自ら企画して協力を取り付け、移動法律相談を奈良でスタートさせたこともあります。その企画は後輩たちに引き継がれ、20年ぐらい続いたようです。

部活動からは、人間関係について大いに学びました。一緒に壁を乗り越えてきた仲間との間にはかけがえのない友情が生まれ、今でも交流が続いています。また、本質論で物事を考える習慣が身につきました。まだほとんど発表されていないテーマで卒業論文を書くことが出来たのも部活動の成果の一つです。法律相談の経験から発見したテーマだったのですが、おかげで30枚書かなければならないところを、大幅に少ない枚数で書き上げて合格しました（笑）。部活動やアルバイトをしながらも、下宿では法律の勉強に真面目に取り組んでいました。「勉強」と「友情」にあふれた学生生活でしたね。

会長に就任されて3年近くが過ぎましたね。

成瀬 ● 校友会に初めて参加したのは40歳ぐらいの頃。知り合いに誘われて参加したのですが、正直に言うとも最初は「ちょっと面倒だな」

と思っていました（笑）。当時、私は塾の経営を始めて社会に出たばかりで、見識のある方の助言を求めていたのですが、まさにそれが校友会にあったのです。先輩にはことあるごとに悩みを聞いてもらい、的確な助言を頂きました。たくさんの魅力的な先輩との出会いから、会にもっと関わりたいと思うようになってきました。

会長への就任は本当に嬉しいことでした。歴代の会長は見識と品格を兼ね備えた方ばかりだったので、私にとってそのような方々の後任となるのは本当に名誉なことでした。就任してからは、先輩方が築いた流れを発展させるべく、女性や若手の意欲をどう湧き立てるかに重点を置いてきました。また、求められている場を作り出すことにも積極的に取り組んできました。人は誰も認められたい、愛されたいもの。校友会がそのような気持ちに応えられる場所であれば、人は自然と集まってきます。

これからの校友会の展望を聞かせて下さい。

成瀬 ● 今は「校友会活動が何のためにあるのか」が明確にされていない中で各県が活動しています。そこから出てきた多様な意見を一つの理念として集約する動きが出てくればすごい力になる。立命館の教学の精神は「学問を通じた人格形成」。校友会は立命館の教学の精神の延長線上の場、大学を出た後の人格形成の場です。現実には、校友会が家庭や仕事の悩みを持つ人が相談相手を求めてやってくる場になっていることもあるでしょう。しかしそのような個々のニーズに真摯に応えていけば、人格形成の場という理想を実現

できるのではないのでしょうか。校友会は、親睦を深める場だけで終わらず、人格形成の場として機能していけるはず。潜在化したニーズに光を当て、それが示す方向へ向かえば、日本が誇るべき校友会活動が立命館で叶うと思います。

当会の活動は、大垣市と岐阜市が中心です。文化意識が高く先進性のある大垣と産業都市の岐阜、両者の地域性を融合して実践すれば、かなり活動的な集団になる。これからの独自の展開で日本一の校友会活動を目指したいですね。人生は辛いものとも考えるか、ロマンに満ちたものとも考えるか。前向きに考えるのが人生の成功の秘訣です。そんな生き方のヒントをもたらしてくれる魅力的な人材が集まる場所、それが校友会です。

<http://www.rits-gifu.com>



成瀬会長

岐阜県校友会

設立：1954年
 会員数：2328名（2011年1月現在）
 懇親会時期：例年7月（2011年は10月に開催）
 総会参加者数：約130名



*写真提供—岐阜市

校友会報からひもとく

校友会の歩み

2019年に校友会は“100歳”になります

校友会報「立命」第27号 1967年3月発行（*第21号～第30号の中から選んだ1冊です）

学園の発展のために校友会が出来ること

今回取り上げるのは第27号です。この頃になると、会報「立命」は卒業生、新入生へ向けた恩師や先輩諸氏の祝辞を集め、年1回の発行ペースを定着させるようになりました。末川博総長は『洋々たる前途を祝福して』と題し、「大衆が動き大衆によって動かされる社会であっても、大衆は個人によって結成されているのであり、個人はめいめい個性をもって生きているのであるから、個人の力はいかに微少にみえても、諸君は、各自の力を過小に評価して自らを棄ててはならない。そして諸君の力の結集によって人類の幸福と世界の平和にかがやかしい未来をきずいてもらいたい」と、力強い言葉で卒業生を送り出しています。

27号の目玉は「学園・校友・校友会」と題した座談会記事。当時の北川敏夫校友会会長をはじめ9名が集い、誌面の約3分の1を使って展開されました。新しい卒業生を迎える校友会として、



「学園・校友・校友会」座談会

学校をいっそう発展させるためにどうしていくか。戦後学校法人によって経営されることになった私立大学を「ほんとうの大学」にするために校友

会に何が出来るとか、各界で活躍する校友と一・二部学友会委員長が意見を交わしました。

会話を進める中で、学生と学校との距離が、戦前・戦後の世代間で変化していることが浮き彫りになります。戦時中に学生生活を過した校友が「母校愛とは、自分の学校をよい学校だと意識するだけでなく、自分が勉強し、育ててもらった大学に誇りをもつこと」と発言したのに対し、戦後世代の在学生からは「母校愛なんて僕等としてはちょっととまどう。友だち同士の話し合いでも、ぼくらの学園ということではなくて、学生一般としか出てこない」という声が上がります。互いの視点で率直に語るうちに、大学とのつながり、学生同士の縦のつながりが希薄で、校友会にあまり関心のなかった学生らが、会の果たすべき役割の大きさに認識を深めていきます。

北川会長は「これからは組織を改め、在学時から宣伝をし、指導をして、生涯学校に関心をもってもらうようにしなきゃいかんと思う」と呼びかけています。もっと学生の中へ。闊達な談話は現在の校友会にも指標となる内容でした。

この号ではほかに、杉田嘉一郎理工学部教授が、理工学部の等持院学舎から、経済、経営を併せた3学部の衣笠キャンパス誕生までの推移を回想した『等持院学舎から衣笠キャンパスへの発展』などの寄稿も掲載されています。

第27号の編集後記

新卒業生おめでとう。今年も入学志願者七万人、西日本最大、開学以来の記録を更新し、学園の殆どが入試に全力を傾けているなかで、われわれは四千有余の新校友を迎えるため、あわただしく、うれしい気持ちを味わっている。(中略)今年も学園の発展に追いつく校友会になるため「校友大会に集ろう(組織強化)」「財政の確立」が最も大きな課題である。これが成果をあげることによって、編集者一同も、機関紙(新聞)の発行回数をふやし、やがて、雑誌にかわり、校友・校友会・学園の間に一層のコミュニケーションが深まるよう努力を続けたいと念じている。新聞・雑誌に、校友各位の積極のご意見や投書をお願いする。



都道府県校友会

- ◆ 1/8 神奈川県校友会新年会
(24名・養老の滝)
- ◆ 1/20 宮崎県校友会新年会
(12名・ホテルメリージュ)
- ◆ 1/22 奈良県校友会新年会
(41名・奈良万葉若草の宿三笠)
- ◆ 1/29 北海道校友会総会
(73名・札幌パークホテル)



奈良県校友会新年会



北海道校友会総会

海外校友会

- ◆ 12/14 シドニー校友会の集い
(7名・Jovanotti Cafe)
- ◆ 12/18 モンゴル校友会発足会兼忘年会
(12名・レストランBAVARIA)
- ◆ 1/22 上海校友会総会
(34名・日本料理店「ころり」)
- ◆ 1/24 サイゴン校友会新年会
(12名・焼肉「磊々」)
- ◆ 2/9 シンガポール校友会懇親会
(35名・Red House Seafood Restaurant)



モンゴル校友会発足会



シンガポール校友会懇親会

地域校友会

- ◆ 1/16 浜松校友会新年会
(31名・ホテルコンコルド浜松)
- ◆ 1/25 立命館駿府会・新年交歓会
(14名・割烹「ひこね」)
- ◆ 2/5 姫路立命会総会
(70名・まねき食品本社)
- ◆ 2/5 愛媛県校友会松山支部総会・新年会
(30名・松山ワシントンホテルプラザ)
- ◆ 2/6 立命館湘南クラブ新年会
(29名・レストランパウゼ)
- ◆ 2/13 愛媛県校友会宇摩立命会
立命館大学硬式野球部歓迎レセプション
(75名・ホテルグランフォーレ)



立命館駿府会新年交歓会



姫路立命会総会



愛媛県校友会松山支部総会

職域校友会

- ◆ 12/15 茨木市役所校友会設立総会
(48名・茨木スカイレストラン)
- ◆ 12/18 全国行政書士立命会総会
(40名・末川記念会館)
- ◆ 1/19 尼崎市役所比叡会総会
(35名・ホテルニューアルカイク)
- ◆ 1/21 高松市役所立命会新年会
(30名・高松市内)
- ◆ 1/28 金沢市役所立林会
(20名)
- ◆ 1/28 石川県庁立命会懇親会
(18名・ホテル金沢)
- ◆ 1/29 北朋会総会
(40名・ホテル札幌ガーデンパレス)
- ◆ 2/4 尼崎市役所比叡会、西宮市役所立命会及び
兵庫県校友会西宮支部の3会合同交流会
(34名・狐山茶屋)
- ◆ 2/10 弁理士校友会総会・
弁理士試験合格者祝賀会
(25名・ミュンヘン北大使館)



茨木市役所校友会設立総会



3会合同交流会

学部・学科校友会

- ◆ 12/11 情報会設立20周年記念総会
(230名・ホテルグランヴィア京都)
- ◆ 12/11 法学部同窓会忘年会
(30名・京都がんて高瀬川二条苑)
- ◆ 1/21 建設会三重県支部総会
(35名・地域職員共済組合榊原保養所「榊湯館」)
- ◆ 1/22 建立会(建設会大阪支部)総会
(150名・ヴィアール大阪)
- ◆ 1/31 建設会京都支部役員会
(30名・朱雀キャンパス)
- ◆ 2/12 大平会大平祐一教授定年祝賀会



情報会総会



建立会総会

サークルOB・OG会 / その他の会

- ◆ 12/16 エース会懇親会
(9名・京阪ホテル)
- ◆ 1/22 山口平四郎先生1周忌追善
昭和47年二部山口ゼミクラス会
(10名・割烹なとり長浜店)
- ◆ 1/23 選抜女子駅伝北九州大会応援企画
(北九州校友会主催、小倉城歴史の道)
- ◆ 2/5 将棋部OB会「学生王座戦優勝祝賀会」
(70名・京都全日空ホテル)
- ◆ 2/20 写真研究会OB会総会・懇親会
(35名・レストラン菊水)



山口ゼミクラス会



女子駅伝応援企画

オール立命館校友大会 2011 in 京都 ~今年は3年ぶりに京都で開催~



■ 昨年の校友大会の様子

日程 10月29日(土)
会場 ホテルグランヴィア京都/京都駅ビル(駅前広場、室町小路広場)

2011年のオール立命館校友大会は、3年ぶりに京都で開催されます。今回の大会の開催に向けては、本部とともに近畿2府4県(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)の6校友会が中心となって実行委員会を組織し、準備を進めています。大会についての情報は次号245号(6月下旬発行)および246号(9月下旬発行)、立命館大学校友会ホームページ特設サイト(8月頃に公開予定)にて順次お知らせしますので、お楽しみに。みなさん、今年は京都でお会いしましょう!

キャリア教育講座「授業+R」が立命館宇治高校で開催されました!

昨年12月10日(金)、11日(土)、立命館宇治高等学校において、全国の若手校友と立命館大学4年生ら28名が協同でキャリア教育講座「授業+R」を開催した=写真。

この授業は、大学進学を控える高校2年生約300名に対して、若手社会人や内定者が講義を行い、大学に進学する意味は何か、学部選択の重要性とは何かを自らの経験を元に発表するもの。内部進学率が100%近い宇治高の生徒に、曖昧になりがちな進学の目的や学部選択の意識をしっかりと持ってもらう



おうと、高校の担任陣や有志の若手校友が協力して昨年より「授業+R」と銘打って取り組んでいる。

1日目は、4回生が講師役を務め「職種マップを作り、なりたい仕事を見つけ、どうすれば就けるのかを考えよう」というテーマで60分間の授業を実施。2日目は、社会人が講師となって、自身の過去を中学校時代から振り返りつつ、大学進学した理由、今の仕事と大学時代がどうリンクしているか、これからの夢について本音で生徒へ語りかけた。

終了後のアンケートでは、9割以上の生徒が「満足した」と回答しており、宇治高の教師陣からも来年の開催を期待する声が多く聞かれた。社会人、4回生、高校生全員にとって自分の人生を考える非常に良い時間となっていた。

第64回ライスボウル、たくさんの校友が応援にかけつけました!

アメリカンフットボール日本選手権「第64回ライスボウル」が1月3日(月)、東京ドームで開催された。学生王者の立命館大学パンサーズ(関西学生)は、社会人王者のオービックシーガルズ(Xリーグセントラル)の完璧な守りに圧倒され、0-24で敗れた(P.24に関連記事)。

応援スタンドは全国からかけつけたたくさんの校友で埋め尽くされた=写真。茨木市役所校友会の田邊武志さんは20年来のパンサーズファンで、今季は関大戦以外のすべての試合をスタンドで観戦したという。「今シーズン、色々厳しいことを言われながらもここまでやってきてくれた。パンサーズなくして日本のアメフッ

トは語れないくらい、その存在は大きいと思う」。大学入学と同時に応援し続けてきたという伴智之さんは「結果としては負けたけれど、立命らしい『一生懸命さ』はそれぞれのプレーに表れていた。その気持ちを校友や在学生みんなが感じ取って、自分たちの明日に活かしていければ」と話した。



立命館大学校友会 全国都道府県校友会 会長/事務局長・幹事長会議を開催

1月15日(土)、グランドプリンスホテル京都において「立命館大学校友会全国都道府県校友会 2010年度 会長/事務局長・幹事長会議」を開催した。当日は、全国52の都道府県校友会会長、幹事長、事務局長と、若手幹事や女性校友などが出席したほか、同日午前中に開かれた「2010年度立命館大学校友会第3回常任幹事会」「2010年度立命館大学校友会第3回三役会議」に出席した三役、常任幹事、専門委員会各委員も出席し、総勢203名での開催となった。

冒頭、山中諄校友会会長より開会挨拶、川口清史立命館総長より祝辞がそれぞれ述べられ、来賓として森島朋三立命館総務担当常務理事が紹介されたのち会議に入った。

続いて、「校友会発展のために、もっと女子力をUP!!」と題して、現在各地の校友会活動の中核で活動を続ける女性校友によるパネルディスカッションが展開された。竹内美奈子東京校友会副幹事長、杉崎朋子新潟県校友会女性部長、房野麻紀子岐阜県校友会事務局長、金田美波福井県校友会幹事、坂本智恵子北九州校友会会計の5名がパネリストを、加藤美佐子校友会本部広報委員がコーディネーターを務め、女性ならではの率直な意見を発表し、会場を盛り上げた。

また、初村雅敬北九州校友会幹事長が「『オール立命館校友大会 2010IN福岡』開催への取組みを振り返って~校友大会開催が九

州沖縄9校友会に与えた影響と成果~」、穴吹学香川県校友会事務局長が「知恵と工夫で活気ある校友会活動を実現~香川県校友会の取組み事例について~」と題して独自の取り組みに関する事例発表を行った。

校友会事務局より「2009年度年間活動報告書のまとめ」など全9項目について連絡がなされた後、テーブルごとにグループディスカッションが行われた=写真。「同年代の校友で率直な意見交換を」との要望に応えたグループ分けにより、各卓で年次の近い校友同士が親近感を抱きつつ活発に意見交換を行っていた。



新校友歓迎会のお知らせ

場所	日時	企画名	会場	問い合わせ先・参照URL	主催
名古屋	5/21(土) 17:00	東海エリア 新校友歓迎会	アサヒビアレ스토랑スーパードライ名古屋 (各線「名古屋駅」徒歩5分) 名古屋市中村区名駅南1-17-23 ニッタビルB1	HP http://alumni.ritsumeijp/ http://alumni.ritsumeijp/reconnect/	立命館大学校友会、 愛知県校友会、三重県校友会、 岐阜県校友会、静岡県校友会
大阪	6/11(土) 15:00	関西エリア 新校友歓迎会	ゆめ八道頓堀店 (地下鉄御堂筋線「なんば駅」徒歩5分) 大阪市中央区道頓堀1-7-21 中座くだおれビル5F	HP http://alumni.ritsumeijp/ http://alumni.ritsumeijp/reconnect/	立命館大学校友会、大阪校友会、 京都校友会、滋賀県校友会、 兵庫県校友会、奈良県校友会、 和歌山県校友会
東京	6/11(土) 18:00	関東エリア 新校友歓迎会	TOKYO MAIN DINING (JR「渋谷駅」徒歩5分) 東京都渋谷区神南1-12-13 渋谷シダックスビル2F	HP http://alumni.ritsumeijp/ http://alumni.ritsumeijp/reconnect/	立命館大学校友会、 東京校友会、神奈川校友会、 埼玉校友会、千葉県校友会
博多	6/11(土) 18:00	“立門会” オール立命館 ウェルカムパーティー in福岡	博多表邸(西鉄「福岡天神駅」徒歩6分) 福岡市中央区今泉2-4-28 VOID福岡1F	福岡県校友会事務局(大成印刷内) TEL 092-472-2621 E-mail eggy@ca.mbn.or.jp (担当:久間) HP http://fukuokarits.com/	福岡県校友会
北九州	6/18(土) 18:30	北九州校友会 ウェルカムパーティー 2011	セカンドニューヨーク (JR「小倉駅」徒歩2分) 北九州市小倉北区魚町1-6-4 HIT小倉駅前ビル2F	北九州校友会事務局 E-mail rkitaq@yahoo.co.jp HP http://alumni.ritsumeijp/kitakyusyui/	北九州校友会青年部

都道府県校友会・学部校友会 連絡先一覧

2011年3月現在

校友会本部役員

会長	山中 諄	'65経済	南海電気鉄道(株)取締役会長兼CEO	副会長	住野 公一	'70経済	(株)オートバックスセブン相談役
副会長	浅賀 博	'58理工	元京都市交通事業振興公社常務理事	副会長	村上 健治	'70産社	大和ハウス工業(株)代表取締役社長
副会長	渡邊 申孝	'58経済	東洋精機(株)取締役相談役	副会長	林 幸雄	'73産社	(株)電広エイジェンシー代表取締役社長
副会長	西村 義行	'60経済	農業自営	副会長	肥塚 浩	'87院経済	(学)立命館総長特別補佐
副会長	清家 邦敏	'61経済	大成印刷(株)代表取締役社長	監事	高橋 英幸	'69経済	(学)立命館一貫教育部担当部長
副会長	布垣 豊	'61法	京都中央信用金庫理事長	監事	佐竹 力総	'70法	(株)美濃吉代表取締役社長
副会長	西村 隆	'63法	元びわ湖放送(株)代表取締役社長	監事	鈴木 治一	'91法	弁護士

都道府県校友会

校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号 <small>※(職)は職場電話番号</small>
立命館大学北海道校友会	廣長 明夫	006-0805 札幌市手稲区新発寒五条1-8-1 中川 均 様	(職)011-251-3373
立命館大学東北道校友会	合田 賢二	080-0010 帯広市大通南21-18-2 勇昇印刷 本田公一 様	(職)0155-23-7414
立命館大学青森県校友会	鎌田 学而	030-0803 青森市安方1-5-17 船水重利 様	017-722-2926
立命館大学岩手県校友会	菊池 宏	020-0802 盛岡市つつじが丘7-3 酒井博忠 様	019-654-3893
立命館大学宮城県校友会	下村 泰雄	984-0831 仙台市若林区沖野4-5-20 柏原 晋 様	022-286-9928
立命館大学秋田県校友会	兜森 勲夫	010-0041 秋田市広面字糠塚110-1 ジェネラス広面306 兜森勲夫 様	018-834-6871
立命館大学山形県校友会	奥山 正明	991-0032 寒河江市南町2-3-13 奥山正明 様	0237-86-8387
立命館大学福島県校友会	富田 良夫	970-8026 いわき市平字六間門15 三村智春 様	0246-24-1386
立命館大学茨城県校友会	木村 幸夫	310-0903 水戸市堀町2247-8 木村幸夫 様	029-252-8401
立命館大学栃木県校友会	高野 雅文	329-1104 宇都宮市下岡本町3792-4 笠原原雄 様	028-673-1783
立命館大学群馬県校友会	石橋 博	370-3521 高崎市棟高町1802-409 石橋 博 様	027-372-8422
立命館大学埼玉県校友会	常田 幸正	350-1105 川越市今成2-8-3 常田幸正 様	049-224-6535
立命館大学千葉県校友会	原 宏亮	276-0031 八千代市八千代台北15-19-28 原 宏亮 様	047-485-8998
立命館大学東京校友会	住野 公一	100-0005 千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー 8階 立命館東京キャンパス	03-5224-8188
立命館大学神奈川県校友会	野口 邦夫	226-0006 横浜市緑区白山4-23-19 長谷川貞栄 様	045-933-4662
立命館大学新潟県校友会	小野 守通	950-0982 新潟市中央区堀之内南2-15-1 小畑正敏 様	025-247-2478
立命館大学富山県校友会	坪井新一郎	930-0004 富山市桜橋通り2-28 (株)名鉄トヤマホテル 参与 吉野久幸 様	(職)076-431-2201
立命館大学石川県校友会	加納 裕	921-8103 金沢市つつじが丘107 木場密雄 様	076-243-5806
立命館大学福井県校友会	村尾 敬治	910-3634 福井市大森町31-21 古村隆一 様	0776-98-4671
立命館大学山梨県校友会	野口 忠蔵	400-0024 甲府市北口1-5-26 ラブリハイツ707 川崎 毅 様	055-251-0428
立命館大学長野県校友会	大槻 四郎	390-0822 松本市神田1-28-2 降幡信秀 様	0263-25-0279
立命館大学岐阜県校友会	成瀬 正	503-0835 大垣市東前3-2-3 レオパレス川合202 麺味オフィス 内 房野麻紀子 様	0584-74-3036
立命館大学静岡県校友会	大石 育三	416-0946 富士市五貫島639-2 大石育三 様	0545-63-8984
立命館大学愛知県校友会	林 幸雄	461-0004 名古屋市中区栄3-15-31 住友生命千種ニュータワービル14F (株)電広エイジェンシー 加藤智大 様	(職)052-937-1250 <small>(FAXのみ)</small>
立命館大学三重県校友会	中山 一幸	516-0012 伊勢市通町448-1 (有)勝原産業 勝原誠一 様	0596-25-9209
立命館大学滋賀県校友会	柗 勝次	520-8686 大津市浜町1-38 (株)滋賀銀行 システム部 高津知仁 様	(職)077-521-2440
立命館大学京都校友会	布垣 豊	604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1 立命館大学 校友・父母課	075-813-8216
立命館大学大阪校友会	村上 健治	530-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル5階 立命館大阪キャンパス	06-6360-4895
立命館大学兵庫県校友会	辻 寛	651-0085 神戸市中央区八幡通3-2-5 IN東洋ビル4階(株)SORA気付 事務局長 岸本真之 様	(職)078-222-7111

校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号 <small>※(職)は職場電話番号</small>
立命館大学奈良県校友会	渡邊 申孝	634-0812 橿原市今井町3-2-32 福井徳丞 様	0744-22-1697
立命館大学和歌山県校友会	石橋 征司	640-8303 和歌山市鳴神248-51 山田啓二郎 様	073-471-4911
立命館大学鳥取県東部校友会	本多 達郎	680-0874 鳥取市叶122 西垣ビル(株)アド・ネットワーク内 西垣佳則 様	(職)0857-30-0555
立命館大学鳥取県西部校友会	秦 伊知郎	683-0037 米子市昭和町25-1 サンイン技術コンサルタント(株)内 大野木昭夫 様	(職)0859-32-3308
立命館大学島根県校友会	坂根 勝	690-0851 松江市堂形町737-6 田中安信 様	0852-27-2903
立命館大学岡山県校友会	守屋 博司	700-0903 岡山市北区幸町7-14 天水 幸町店 守屋博司 様	(職)086-232-0945
立命館大学広島県校友会	伊藤 利彦	739-1734 広島市安佐北区口田町2-24-16 鎌倉正則 様	082-843-5462
立命館大学広島県東部校友会	岩村 寿夫	720-0082 福山市木之庄町3-8-5 岩村寿夫 様	084-923-4214
立命館大学山口県校友会	清弘 和毅	753-0043 山口市宮島町7-21 中村史朗 様	083-924-0283
立命館大学宇部小野田校友会	渡邊 浩	755-8601 宇部市常盤町1-7-1 宇部市役所 秘書課内 森島正信 様	(職)0836-34-8108
立命館大学徳島県校友会	宮崎 房子	771-4261 徳島市丈六町溝筋21-1 宮崎房子 様	088-645-0897
立命館大学香川県校友会	村上 良一	760-0071 高松市藤塚町2-12-15-404 穴吹 学 様	087-862-3565
立命館大学愛媛県校友会	岡本 正志	791-8022 松山市美沢1-1-23-203 石田二郎 様	089-925-2547
立命館大学高知県校友会	森山 泰宏	781-2110 吾川郡いの町4016-1 平井雅章 様	088-893-3410
立命館大学福岡県校友会	清家 邦敏	816-0092 福岡市博多区東那珂3-6-62 大成印刷(株) 代表取締役社長 清家邦敏 様	(職)092-472-2621
立命館大学北九州校友会	奥野 照章	804-0025 北九州市戸畑区福柳木2-3-11 初村雅敬 様	093-882-9240
立命館大学佐賀県校友会	西村 邦彦	842-0014 神崎市神崎町姉川2215 伊香賀俊介 様	0952-53-4243
立命館大学長崎県校友会	横山 正人	850-0037 長崎市金屋町4-5 (株)長崎ガードシステム内 山口孝司 様	(職)095-825-3795
立命館大学熊本県校友会	隈部 幸一	860-0017 熊本市練兵町1 財団法人地域流通経済研究所内 飯田俊之 様	(職)096-326-8625
立命館大学大分県校友会	岡崎 信行	870-0128 大分市森108-83 佐藤昌彦 様	097-521-5392
立命館大学宮崎県校友会	高橋 一身	880-0926 宮崎市月見ヶ丘5-1-1 フォンテ月見ヶ丘三番館202 南 英輝 様	0985-44-1975
立命館大学鹿児島県校友会	福元 寅典	890-0053 鹿児島市中央町16-9 川窪宏一 様	099-253-3336
立命館大学沖縄県校友会	糸洲 昇	900-0005 那覇市天久2-28-23-203 島袋 健 様	090-7587-0858

学部校友会

衣笠キャンパス 603-8577 京都市北区等持院北町56-1				びわこ・くさつキャンパス 525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1			
校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号	校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号
立命館大学法学部同窓会	大井 一星	法学部事務局	075-465-8175	立命館大学経済学部同窓会	住野 公一	経済学部事務局	077-561-3940
立命館大学文学部校友会	会長代行 志田 穰	文学部事務局	075-465-8187	立命館大学経営学部校友会	奥田 直幸	経営学部事務局	077-561-3941
立命館大学産業社会学部校友会	古谷 寛	産業社会学部事務局	075-465-8185	立命館大学理工系同窓会連絡協議会	八村広三郎	総合理工学院企画課	077-561-2624
立命館大学国際関係学部校友会	林 夏音	国際関係学部事務局	075-465-1211				
立命館大学政策科学部同窓会	新井 弘徳	政策科学部事務局	075-465-7877				

海外校友会

立命館大学校友会北カリフォルニア支部	立命館大学校友会バンクーバー支部	立命館大学シンガポール校友会	立命館大学北京校友会	立命館大学インド校友会
立命館大学ロスアンゼルス校友会	立命館大学英国校友会	立命館大学校友会マレーシア支部	立命館上海校友会	
立命館大学テキサス会	立命館大学シドニー校友会	在韓立命館大学同窓会	立命館大学サイゴン校友会	
立命館大学校友会シカゴ会	立命館大学インドネシア校友会	立命館大学校友会台湾支部	立命館大学ハノイ校友会	
立命館大学ニューヨーク校友会	立命館大学タイ王国校友会	立命館大学香港校友会	立命館大学モンゴル校友会	

立命館はご卒業後もあなたのそばに

各種証明書の発行や施設利用、生涯学習支援についてご案内いたします。

用件	窓口	手続き、施設紹介など
各種証明書の申込について	◆法学部事務室 (法学部/法学研究科) TEL.075-465-8175	卒業学部・研究科の事務室にお越しいただくか、封書でお申し込み下さい。直接お越しの際は、必ず身分証明書(運転免許証・健康保険証等)をご持参下さい。郵送での申し込みの際には、下記の必要事項を明記していただき「発行手数料分の郵便為替(定額小為替)または郵便切手」と「返信用封筒(切手を貼り、送り先を明記)」、身分証明書のコピーを同封の上、お送り下さい。なお、ご不明な点がございましたら、各学部事務室までお問い合わせ下さい。 【必要事項】 ●氏名・フリガナ(英文申請時はローマ字も) ●卒業年月 ●卒業学部・学科・専攻 ●生年月日 ●現住所 ●連絡先電話番号 ●利用目的(簡単に) ●申請される証明書の種類と枚数、和文/英文の別、厳封の有無 ●手数料の支払い方法と金額(「郵便切手600円分」など) ●身分証明書の種類 【手数料】 ●卒業(終了)証明書・成績証明書・基礎資格単位修得証明書・各種証明書:1通300円 ※英文証明書も同額です 【返信用封筒・郵送料】 ●証明書3通まで(厳封なしの場合):定型筒最大封筒(長型3号)に切手80円を貼付して下さい。そのほかご不明な点は、ご卒業の学部・研究科事務室にお問い合わせ下さい。
	◆文学部事務室 (文学部/文学研究科) TEL.075-465-8187	
	◆産業社会学部事務室 (産業社会学部/社会学研究科) TEL.075-465-8184	
	◆国際関係学部事務室 (国際関係学部/国際関係研究科) TEL.075-465-1211	
	◆政策科学部事務室 (政策科学部/政策科学研究科) TEL.075-465-7877	
	◆映像学部事務室 (映像学部) TEL.075-465-1990	
	◆独立研究科事務 (応用人間科学研究科) TEL.077-465-8375 (先端総合学術研究科) TEL.077-465-8348 (言語教育情報研究科) TEL.077-465-8363	
	◆経済学部事務室 (経済学部/経済学研究科) TEL.077-561-3940	
	◆経営学部事務室 (経営学部/経営学研究科) TEL.077-561-3941	
	◆スポーツ健康科学部事務室 (スポーツ健康科学部/スポーツ健康科学研究科) TEL.077-561-3760	
◆総理工学院事務室 (理工学部) TEL.077-561-2625 (情報理工学部) TEL.077-561-5202 (生命科学部・薬学部) TEL.077-561-5021 (理工学研究科) TEL.077-561-2624 (テクノロジー・マネジメント研究科) TEL.077-561-3421		
◆プロフェッショナルスクール事務室 (法務研究科) TEL.075-813-8272 (経営管理研究科) TEL.075-813-8273 (公務研究科) TEL.075-813-8274		
図書館の利用	◆衣笠図書館 TEL.075-465-8217 ◆メディアセンター(BKC) TEL.077-561-2634 ◆メディアライブラリー(BKC) TEL.077-561-3943 ◆朱雀リサーチライブラリー TEL.075-813-8257 http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/mr/lib/	●利用登録申請が必要です。下記の必要書類をご用意のうえ、衣笠図書館1階インフォメーションカウンター、メディアセンター1階サービスカウンター、メディアライブラリー2階サービスカウンター、朱雀リサーチライブラリーカウンターのいずれかで所定の手続きをお済ませ下さい(土日の発行は行っておりません)。 ●申請は、閉館時刻の1時間前まで受け付けています。 ※衣笠図書館では、昼休み(開館中は11時半~12時半、それ以外は12時~1時)には発行を行っておりません。 ●開館日・開館時間は、ホームページにてご確認くださいか、お問い合わせ下さい。 【申請にあたってご用意いただくもの】 1. 次のいずれかの書類の原本(現住所の確認をさせていただきます)。 運転免許証・健康保険証・住民票の写し(発行後1カ月以内) 2. 利用申請書(図書館備え付け)
東京オフィスの利用	◆東京キャンパス 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー8F(東京駅日本橋口直結) TEL.03-5224-8188 ◆東京オフィス 〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-19 辰沼建物ビル8F(東京駅八重洲北口から外堀通りを渡り北へ徒歩1分) TEL.03-5204-8611 http://www.ritsumeai.jp/tokyocampus/index_j.html	東京キャンパスでは東京(首都圏)でのリエゾン活動や校友をはじめ一般市民の皆様が気軽に参加できるイベントや公開講座を実施すると共に、東京校友会事務局の機能も担っております。東京オフィスは立命館の東京(首都圏)における学生の就職活動拠点として機能しています。オフィス内にはインターネット端末も設置されており、校友の皆様もご利用いただけます。詳しくは東京キャンパスHPをご覧ください。適宜、情報を公開しております。 ※校友への各種証明書発行はしておりません。
立命館大阪キャンパスの利用	◆立命館大阪キャンパス 〒541-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル5F (大阪オフィス) TEL.06-6360-4895 (社会人大学関係) TEL.06-6360-4892 (キャリア関係) TEL.06-6360-4893	立命館大阪キャンパスは、社会人大学院(MBA、MOT、言語教育情報研究科、法務研究科)、一般公開講座を開設し、学生の就職活動支援や国際学術交流(立命館孔子学院大阪学堂および同済大学大阪キャンパスを付設)などの事業を行っています。さらに、立命館大学大阪校友会・父母教育後援会の皆様への対応、入試情報の提供なども行っています。 ※校友への各種証明書発行はしておりません。

用件	窓口	手続き、施設紹介など
会館の利用	◆末川記念会館 TEL.075-465-8234 http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/gl/suekawa/	末川博名誉総長の生前の書斎を模したメモリアルルーム、京都地方裁判所から移設した貴重な陪審法廷、故白川静名誉教授の研究成果を広く公開している「白川静記念東洋文字文化研究所」、ホール、会議室(事前申込要)、レストランなどがあり、立命館土曜講座も当会館で行っています。研究会や会議にご利用下さい。
大学院への進学	◆各研究科事務室 [TEL. P.20参照] または ◆大学院課 TEL.075-465-8195 http://www.ritsumeai.jp/gr/index_j.html	立命館大学大学院では、各研究科において積極的に社会人を受け入れ、働きながらでも学びやすいシステムの導入に努めています。研究科ごとに多様な入試方式を用意しておりますので、大学院への進学に興味のある方は各研究科の事務室までお問い合わせ下さい。
エクステンションセンターの利用	◆エクステンションセンター [衣笠] TEL.075-465-8297 [BKC] TEL.077-561-2853 [朱雀] TEL.075-813-8285 http://www.ritsumeai.jp/extension/index_j.html	エクステンションセンターでは、進路に直結する国家資格をはじめ、専門職・キャリアアップのための講座や、学科の特色を活かした多彩な講座を開講しています。立命館大学、立命館大学大学院、立命館アジア太平洋大学、立命館アジア太平洋大学大学院のいずれかを卒業、または修了している方は「エクステンションセンター 校友特別受講制度」が適用されます。 【エクステンションセンター 校友特別受講制度】 ●制度内容 立命館が提携している専門機関で実施される特定の講座を受講する際、割引料金を適用する制度です。 ●対象講座 法曹(司法試験)、公認会計士、税理士、司法書士、日商簿記1級を目指す試験対策講座。講座内容については事前にご確認下さい。 ●利用方法 エクステンションセンター窓口へお申込み下さい。申込書はホームページからダウンロードできます。 ●提携専門機関 辰巳法律研究所 http://www.tatsumi.co.jp/ 大原学園 http://www.o-hara.ac.jp/ TAC http://www.tac-school.co.jp/
校友サロンの利用	[衣笠] 国際平和ミュージアムロビー(1階、および2階) ◆教育文化事業課(国際平和ミュージアム1階) http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/er/wp-museum/	●火~日曜日 9:30~16:30 (休館:月曜日、祝日の場合は翌日。夏期および年末年始の休館期間ほか) ●2階ロビーにお茶の自販機設置(1階ロビーでの飲食はご遠慮下さい) ●国際平和ミュージアム常設展示等を無料でご見学いただけます。 ご希望の方は1階教育文化事業課窓口にお申し出下さい。 無料見学は、校友ご本人と同伴の若千名に限らせていただきます。
	[BKC] コアステーション3階ラウンジ ◆コアステーション1階キャンパス事務課	●月~土曜日 9:00~20:00 (休室:日曜日、夏期および年末年始の休暇期間) ●コーヒー等の自販機設置 ●ご利用の際は、コアステーション1階キャンパス事務課へお越し下さい。 (執務時間:月~金曜日 9:00~17:30、一次対応)
	[朱雀] 朱雀キャンパス:6階校友ロビー ◆校友会事務局(朱雀キャンパス6階)	●月~金曜日 9:00~17:30 (休室:土・日曜日、夏期および年末年始の休暇期間) ●1階学園本部エリア受付にお申し出の上、6階校友会事務局にお声かけ下さい。 ●校友会事務局にて接遇いたします。コーヒー自販機設置。
	○いずれも事前申込は不要です。時間外の対応は致しかねますのでご了承下さい。 ○衣笠およびBKCの校友サロンは、一般の方や教職員との共用スペースです。校友専用ではございませんことを何卒ご理解下さい。 ○各サロンとも、校友団体の総会等、大勢でのご利用には適しません(おおむね1グループ10名以内でのご利用を想定しております)。 ○夏期および年末年始の休室期間のお問合せ、キャンパスマップのご請求等、詳細は校友会事務局へご連絡下さい。 ○アクセスマップ http://www.ritsumeai.jp/accessmap/index_j.html 立命館大学校友会事務局(校友・父母課) http://alumni.ritsumeai.jp/ TEL.075-813-8216 E-mail:alumni@st.ritsumeai.ac.jp	

大学の業務日時	
通常の業務日時	月~金曜日 9時~17時30分
通常の休業日	土・日曜日、祝日、夏期・年末・年始休暇 ※図書館、国際平和ミュージアム等の休日は別途定めます。

住所等の変更ご連絡先
立命館大学校友会事務局(校友・父母課) TEL.075-813-8216 FAX.075-813-8217 【住所変更専用フリーダイヤル】 TEL.0120-252-094 FAX.0120-252-095 【校友会ホームページからも変更可能です】 https://alumni-ritsumeai.jp/form/change.html

立命館のゼミナール訪問

衣笠 石原ゼミ (政策科学部)

📖 石原ゼミ：政策科学部 石原一彦教授 📖 ゼミテーマ：持続可能な都市形成とまちづくり

学生自ら京都市街に足を運び、調査する実証研究を重視する石原ゼミ。
持続可能な都市形成やまちづくりを実践的に考えるゼミの学びに同行しました。



調査をもとに望ましいまちのあり方を分析・提案

私の研究テーマは、住宅地計画からまちづくりまで、「居住」に関わること。中でもゼミでは、都市の成熟化や自律的な都市環境を実現するという視点から、持続可能な都市のあり方を模索しています。具体的には「木屋町・先斗町・立誠学地区の研究」、「堀川団地再生」、「日本および諸外国のアスベスト問題研究」の3テーマを設定。学生たちがグループに分かれ、研究に取り組んでいます。

立誠学区(四条～三条、鴨川～寺町のエリア)では、木屋町班と先斗町班が活動しています。木屋町では、近年来街者が減少して街の活気が損なわれ、京都の繁華街としての復権が求められています。一方、先斗町は、古くから花街として栄え、情緒豊かな界隈でした。ところが近年、客引きが当たり前になり、また店先にメニューを陳列したり、派手な看板を設置するなど、先斗町らしい風情が失われつつあります。地域の方々もこうした実態に危機感をもち、まちづくり活動を行っています。学生たちはそうした地域の方々とのコミュニケーションをとりながら、店舗の主やお客さんへのアンケート調査を実施。望ましいまちのあり方や活性化の方法を模索し、地域に提案しています。

堀川団地再生班やアスベスト対策研究班も、当事者へのアンケート調査をはじめとしたフィールドワークを通して、堀川商店街の再生、あるいはアスベスト被害の実態解明と除去対策の道筋を探っています。

多様な学問領域を融合させる政策科学部らしい研究

これまでの都市計画は、都市への人口集中や都市圏の拡大といった問題に対応する都市化政策が中心でした。しかし経済成長が鈍化し、「右肩下がり」の時代といわれる今後は、これから将来にわたって持続的に都市環境をマネ

ジメントしていくようなまちづくりが必要です。

私は、「居住」に関心をもち、望ましい住宅地のあり方を考える中で、まちづくりや都市で起こるさまざまな問題にも目を向けてきました。まちづくりや都市計画は、異なる分野のスペシャリストが意見を出し合い、進められます。さまざまな専門領域を理解し、調整していく過程が、難しくもおもしろいところ。多様な学問領域を融合させる、まさに政策科学部らしい研究領域といえます。

「現場を知れ」。その中で問題解決能力が培われる

学生にいつも説いているのは、「現場を知れ」ということ。週1回のゼミで研究計画や進捗状況を話し合い、それを元に学生は、それぞれの研究対象地域でアンケート調査を実施、調査結果を分析します。調査では、地域の人に協力を仰いだり、さまざまな人の意見を聞きながら課題を解決していかなければなりません。年齢も、立場も異なる大人と折衝する機会も数多くあります。そうした人々に「もまれる」中でコミュニケーション能力が鍛えられ、論理的に問題を解決していける力も身につけていきます。こうした能力は、実社会に出てもきつとさまざまな場面で生かせるはずですよ。

Profile

石原 一彦 (いしはら かずひこ)

政策科学部教授

1990年京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士後期課程を単位取得退学。(株)市浦都市開発建築コンサルタンツ[現(株)市浦ハウジング&プランニング]に勤務し、住宅マスタープラン、密集市街地住環境整備計画などの業務に従事。2004年現職に着任。一級建築士、技術士(都市および地方計画)。



Interview

理論だけでなく、まちへ出て実態を調査

理論だけでなく、まちに出て実態を知る。ほかの講義やゼミが座学を中心に行われる中、「足を使って」得た情報を何よりも大切にしている石原ゼミでは、フィールドワークを積極的に行う。たくさんの研究フィールドを持つ石原教授のもと、ゼミ生がフィールドワークをしやすい環境が整っている。

Student's Voice

まちの現状、肌で感じる

政策科学部3年生
佐藤 広大 さん



フィールドワークでは、まちの人から生の意見を聞いたり、自分たちで考えているだけでは気づかないような発見をしたりすることが出来ます。私たちのグループでは、木屋町をフィールドに「木屋町の歴史的資源の活用による木屋町のイメージ向上の方策と活性化の可能性」というテーマを研究中。住民会議や夏祭りへの参加といった、まちの住民の生活に触れながら研究を深められることは、非常に有意義な経験になっています。

ゼミ生たちはグループに分かれてそれぞれのテーマを研究。各テーマに沿った具体的な研究フィールドで、アンケート調査を中心に実態を調査する。より多くの協力を得るためには地域の人とのコミュニケーションが不可欠と、町内会と連携をとったり、時には何度も住民や地域店舗などを訪ねたりする。そのようなやり取りを重ね、コミュニケーション力を発展させ、課題の発見、解決へと実践的な力を培っていく。住民の立場になって課題解決法を模索するゼミ生たちの姿勢には、教授から学生へと注がれる温かな眼差しが受け継がれていることがうかがえる。

Schedule

● 3 回生

- 2010.4 グループに分かれて研究テーマ設定
- 2010.5 活動計画立案
- 2010.8 ~ アンケート調査
- 2010.9 ゼミ旅行兼フィールドワーク、調査結果の分析、研究
- 2010.11 PSエキスポ(学部ゼミナール大会)発表
- 2011.1 ゼミレポート提出



BKC 日下ゼミ (理工学部)



📖 日下ゼミ：理工学部 日下貴之教授 📖 ゼミテーマ：複合材料の破壊特性

日下ゼミでは、先進の複合材料の構造や強度、破壊特性などを実験・解析しています。自動車や航空機などに応用される研究だけに、ゼミにも学生たちのやる気、熱気が満ちています。

自動車、航空機に使われる先端材料の強度を分析

先進の複合材料の強度や破壊特性を分析し、産業に応用しようとするのが、私のゼミの研究です。近年、これまでにない構造をもった新素材が次々と生み出され、多様な分野で活用されています。私の研究するカーボンファイバーと呼ばれる炭素繊維もその一つです。この複合材料は軽量で強いという特性があり、自動車、航空機、建築構造物など高い安全性が求められる製品への応用が期待されています。

こうした新しい素材を実際に製品に取り入れる前には、強さや壊れやすさを分析して安全性を確かめ、目的にかなう構造に設計しなければなりません。そこで私たちは、カーボンファイバーを自動車や飛行機に用いた場合の強度や衝撃特性、構造について研究しています。たとえば自動車のボディは、ただ堅くて強ければそれでいいというわけではありません。万が一ぶつかった時、衝撃を吸収しながら壊れることで、中にいる人を守るようなものでなければならないのです。ゼミでは、カーボンファイバーを自動車に用いた場合の衝撃に対する強度などを測定し、どんな構造設計にするのが最適かを解析しています。その他、飛行機の翼の継ぎ目部分はどうか設計すれば壊れにくいといった研究に取り組んでいる学生もいます。

研究成果が「目に見える」ところがおもしろい

私の研究の出発点は、航空工学に興味をもったことです。そこから飛行機などの輸送機関の構造設計の研究に携わるようになりました。飛行機や自動車など、身近にあって子ども心にも興味をかきたてられるようなものを対象とし、研究成果が「目に見える」ところがこうした機械研究のおもしろさでしょ

う。企業との共同研究も多く、共同研究した企業に就職を決める学生もいます。

私の目下の研究テーマは、「構造ヘルスマニタリング」。力を加えると電気信号を発信する圧力素子を飛行機や自動車の構造に組み込むことで、定期検査などで人間が調べなくても、機械自身が瞬時に異常を察知し、トラブルや事故を防ぐ。そうした装置の開発につなげる研究を進めています。

「結果」を重視することで成長する

ゼミでは、学生はグループに分かれ、実際に材料を使って強度を測定したり、コンピュータでシミュレーションしたり、実験や解析が中心です。週1回、いくつかのグループが進捗状況をプレゼンテーションし、大学院生も交えて意見を交換します。学生の研究活動ではプロセスも大切ですが、私はあえて「結果」を重視します。最も安全性の高いジョイントを設計できたか、より信頼性の高い実験結果を導き出したか、常に学生に成果を問います。結果を求めることで、学生も全力を発揮するし、成長すると思うからです。厳しいこともあるでしょうが、1年間、研究を通して自分で問題を解決する力、求められる結果を収める力を身につけることが、社会に出て役立つと考えています。

Profile

日下 貴之 (くさか たかゆき)

理工学部教授

1989年京都大学工学部航空工学科卒業。1991年同大学院工学研究科航空工学専攻修了。同年トヨタ自動車(株)入社後、1998年兵庫県立工業技術センターを経て1998年より本学へ。工学博士(京都大学)。



将来性の高い先進複合材料を研究

日下ゼミでは、航空機や自動車、コンクリート構造物などを対象に、構造設計に関わる諸問題を研究。近年は、自動車の衝突安全、先進複合材料の強度評価、インフラ構造物の維持管理などに力を入れている。「振動を検知するセンサをコンクリートなどの構造物に設置して監視することで、構造物に生じた損傷をリアルタイムに検出するシステムの開発」「画像処理を行える監視カメラを用いて、コンクリート構造物の表面に生じたひび割れなどの損傷をリアルタイムに検出する」などのテーマで、学部4年生と大学院生合わせて約20人が研究に取り組んでいる。

スマート構造(人工の構造物に、人間などの生物と同様に知覚・判断・応答の機能を持たせようとするもの)など、将来性のあるテーマにも取り組み、博士学位の取得も含めて研究開発志向の学生に適したゼミ。実践的な知識や技術が習得出来る内容に、ゼミ生はやりがいを感じているという。



Student's Voice

社会人に必要なスキルも身につく

理工学部6年生
宇野純矢さん



研究室の全員が集まる週1回の研究経過報告会では、活発な意見が飛び交います。教授は、研究の経過を見てくれるだけでなく、発表の仕方や研究に対する姿勢など、さまざまな角度から指導して下さるので、研究に関わる専門知識はもちろん、社会人になる上で必要なスキルや物事の考え方も身につけることができます。

Schedule

● 4 年生

前期 研究テーマについて先行研究を調べるなど文献調査

後期 テーマに沿った実験、解析、数値計算、卒業論文作成

SPORTS スポーツ

問い合わせ先: スポーツ強化センター
075-465-7863

アメリカンフットボール部

アメリカンフットボール学生日本一

「パナソニック電工杯第65回毎日甲子園ボウル」

パンサーズが2年ぶり7度目の優勝



優勝を喜びのパンサーズのメンバー

(12月19日 阪神甲子園球場)

アメリカンフットボールの学生日本一を決める「パナソニック電工杯第65回毎日甲子園ボウル」が開催され、立命館大学アメリカンフットボール部パンサーズは、早稲田大学ビッグベアーズと対戦した。攻守両面でバランスの取れた動きを見せ、終始試合を支配した立命館大学が48対21で早稲田大学に勝利し、2年ぶり7度目の学生日本一の座に輝いた。



学生たちは果敢に社会人に挑んだ

(1月3日 東京ドーム)

2011年1月3日にはアメリカンフットボールの日本一を決定する第64回ライスボウルが開催された。

学生代表のパンサーズは社会人代表のオービックシーガルズと対戦。オービックの堅守の前に得点が奪えず、24対0で敗れ、2年ぶりの日本一奪還は惜しくも果たせなかった。

スキー部

第26回全日本学生アルペンチャンピオン大会で金子未里さん、小林大郁さんが活躍

(1月4日～8日 志賀高原西館山スキー場)

第26回全日本学生アルペンチャンピオン大会の大回転で金子未里さん(経済4)が1日目、2日目とも優勝に輝いた。また小林大郁さん(経営3)が男子大回転1日目3位、2日目2位となった。



優勝した金子さんの滑り

金子未里さんが第25回ユニバーシアード冬季競技大会女子大回転で6位入賞

(1月27日～2月6日 トルコ共和国)

第25回ユニバーシアード冬季競技大会で、金子未里さん(経済4)がアルペンスキーの女子大回転で6位入賞を果たした。

女子陸上競技部

第29回全国都道府県対抗女子駅伝で立命館学園の学生・生徒が活躍

(1月16日 京都市)

皇后杯第29回全国都道府県対抗女子駅伝が京都市で開催された。

優勝した京都チームには牧 恵里奈さん(立命館宇治高2)、菅野七虹さん(立命館宇治高1)、池内彩乃さん(立命館宇治高1)、そして



6区で区間新記録の快走を見せた菅野さん

校友の小島一恵さん(2010年経営卒)が出場し、優勝に貢献した。準優勝した福岡チームには田中華絵さん(経済3)が出場し、1区で区間賞を獲得するなど、多数の立命館学園の学生・生徒が活躍を見せた。

男子バスケットボール部

学生と校友、そして生徒の交流の場に「第6回Ritsumeikan-Cup」を開催

(1月10日 びわこ・くさつキャンパス)

BKCジムにおいて、体育会男子バスケットボール部が主催する「第6回Ritsumeikan-Cup」を開催した。

この大会は、立命館中学校女子バスケットボール部顧問の清水良司教諭の呼びかけにより始まり、部員と校友が協力して企画・運営しているもの。地域へのバスケットボールの普及と技術力向上支援を目的に毎年行われている。

今回は京都府・滋賀県の中学校のうち、本学の校友が顧問や指導者を務める10チーム、総勢約160名の中学生が参加。参加チームによる交流試合、部員による技術クリニックを実施した。



交流試合を行う参加校の中学生

CAMPUS ACTIVITIES 学生活動

問い合わせ先: 学生オフィス
075-465-8167

将棋研究会

第41回全日本学生将棋団体対抗戦で4年ぶりの優勝

(12月24日～26日 三重県四日市市)

全日本学生将棋団体対抗戦は、全国8地区の代表10校が総当りで大学日本一の座を争う大会で、1チーム7人が出場する。

最終戦で立命館大学が大会3連覇中の東京大学との対決を制し、4年ぶりの優勝を飾った。



接戦を制し、大学日本一に輝いた将棋研究会

かるた会

第57期名人位、第55期クイーン位決定戦に出場

(1月8日 滋賀県大津市・近江神宮)

第57期名人位、第55期クイーン位決定戦が行われ、クイーン戦では楠木早紀さん(産社3)が見事勝利し、7連覇を達成した。

名人戦では、川崎文義さん(文4)が、12年間名人に輝いている西郷直樹名人に挑戦したが、惜しくも敗れた。



7連覇を達成した楠木さん(右)の競技の様子

Reco.lab

「学内循環型社会」を実現 環境サークルReco.labが全国大学生環境活動コンテストで入賞

(12月26日～27日 立正大学大崎キャンパス)

第8回全国大学環境活動コンテスト(ecocon2010)において、環境サークル



Reco.labが提案した企画案「大学を中心に捉えた循環型社会の創造」が入賞を果たした。

このコンテストは、大学生のさまざまな環境活動を評価・表彰するもので、2003年から毎年実施されている。

ボランティア活動

学生のパワーで地域を元気に 学生ボランティア団体が除雪作業を実施

(2月2日～5日 滋賀県高島市、2月4日～6日 滋賀県長浜市)

ボランティアセンター学生コーディネーターの学生たちと学生ボランティアサークル「ボラっちゃん」が滋賀県の高島市朽木麻生地区と長浜市余呉町摺墨・中河内地区でそれぞれ除雪作業のボランティアをおこなった。

麻生、摺墨、中河内地区ともに毎年2m以上の雪が積もる豪雪地域にもかかわらず、高齢者が多く、除雪や側溝清掃に問題を抱えている地域。

学生たちは除雪作業を通じて地域の方々に触れあい、社会の役に立つことの大切さを学ぶ機会となった。



麻生地区では学生コーディネーターを中心に除雪作業を行った



摺墨地区でボランティアをする「ボラっちゃん」の学生たち

学生の視点から京都市に政策を提言

2月4日(金)京都市庁にて、学生が考えた京都市の政策プランを市に向けて提言する場が設けられました。

提言されたプランは「京都市しあわせ(ハピネス)政策論」(担当: 金山勉・産業社会学部教授)から生まれたもの。京都で学ぶ学生独自の視点で、市民の誰にも受け入れられる政策プランをつくりあげることが目的としています。

3人の学生が、「大学生が着物を着るきっかけをつくり、学生と地元コミュニティの関わりを促進するプラン」、「地下鉄にパウダールームスペースを設置し、その場から女性の市政参加のきっかけを作るプラン」などを提言。それぞれのプランについて、市職員の方々から実現に向けてのアドバイスなどが出されました。



歴史都市防災研究センターが防災グッズ「防災缶」を開発

地震などの大規模災害に備え、立命館大学歴史都市防災研究センターが、自動販売機で購入できる缶入りの防災グッズ「防災缶」を開発しました。

同センターの鐘ヶ江秀彦・政策科学部教授



エッセンシャルオイル、LEDライト、ハンカチなどが入った「美」の防災缶

の研究室が中心となり、「女性特有のニーズへの対応」「被災後の帰宅支援」など、対策が手薄だった防災用品の試作と開発を進めてきました。「防災缶」は280ml入りスチール缶を使い、用途ごとに美・看・帰・夜の4種類。缶という暮らしに溶け込んだ素材を使うことで、防災用品としてのみならず、人々に防災を身近に感じてもらうことも目的としています。

「防災缶」のサンプルは歴史都市防災研究センターに展示されており、自由にご覧いただけます。

名西徳之教授が応用物理学会「第1回化合物半導体エレクトロニクス業績賞(赤崎勇賞)」を受賞

理工学部電子光情報工学科・名西徳之教授が応用物理学会「第1回化合物半導体エレクトロニクス業績賞(赤崎勇賞)」を受賞しました。



同賞は、化合物半導体エレクトロニクス分野において新しい技術の開発、発明、新原理の発見、または卓越した実証システムの構築等において顕著な業績をあげた研究者に贈られる賞です。

名西教授は、窒化物半導体の結晶成長、物性解明、光及び電子デバイス応用の分野で世界的に研究をリードしています。これまでの研究業績が評価され、今回の受賞に至りました。

SPORTS STADIUM クリスマススペシャル ~プロ野球選手がやってくる~をBKCにて開催

12月25日(土)、びわこ・くさつキャンパス(BKC)にて、プロ野球の井端弘和選手(日本プロ野球選手会理事長/中日ドラゴンズ)と新井良太選手(現・阪神タイガース)を迎えて、スポーツ健康科学部の教学内容を地域の方に体験していただく企画を開催しました。当日は、地元・草津市を中心に約200名の親

子を迎えて、スポーツ健康科学部の教員によるハイスピードカメラを使ったバッティングフォームチェック、筋力や脂肪測定、メンタル講習、野球食講座、スポーツ健康科学部の学生たちが工夫を凝らした子ども向け企画など、親子で楽しめる企画を多数実施しました。メイン企画として、井端選手、新井選手、伊坂忠夫・スポーツ健康科学部教授が参加したトークショーを開催。後半には、海老久美子・スポーツ健康科学部教授も加わり、海老教授監修の野球食弁当を参加者全員で試食しました。



ミャンマー、中国における災害支援活動の取り組みについて

2008年5月の災害発生直後から、立命館学園では「ミャンマー・サイクロン/中国・大地震災害支援活動および教育復興支援」に関する取り組みを実施してきました。

活動のひとつである募金活動を通して、多くの皆様にご支援をいただきました。そのご支援をもとにして、中国の北川中学校では、2010年9月に図書館の再建が完了。2009年8月および2010年12月には、ミャンマーの小学校5校に対し、本棚・書籍・文房具等の贈呈を行いました。

ご支援をいただきました皆様に心より御礼申し上げます。



JR南草津駅に新快速電車が停車

3月12日(土)より、JR南草津駅に新快速電車が停車するようになりました。南草津駅はびわこ・くさつキャンパス(BKC)の最寄り駅で、これにより各地からのアクセスがさらに向上します。

【新快速を利用する場合】
南草津駅→京都駅 3分短縮されて17分
南草津駅→大阪駅 9分短縮されて47分
【南草津駅の停車本数】
平日 170本(3/11迄)→293本(3/12以降)
休日 156本(3/11迄)→266本(3/12以降)

立命館アカデミア@大阪梅田への移転および名称変更のお知らせ

1月6日(木)より、社会人大学院生向けの教学拠点「立命館アカデミア@大阪」を、「立命館大阪キャンパス」に名称変更。場所を大阪梅田の大阪富国生命ビルに移し、業務を開始しました。今後、一層の学習環境の充実を図ってまいります。



- アクセス
- ・地下鉄谷町線 東梅田駅 徒歩1分
- ・地下鉄御堂筋線 梅田駅 徒歩3分
- ・阪神 梅田駅 徒歩3分
- ・JR 大阪駅 徒歩5分
- ・阪急 梅田駅 徒歩5分

立命館京都文化講座「京都に学ぶ」ブックレット第6巻「京の地宝と考古学」発行

立命館大学文学部は、京都文化講座「京都に学ぶ」ブックレットの第6巻「京の地宝と考古学」を発行しました。



「地宝」とは、京都の地下に眠るさまざまな時代の遺跡や遺物のことです。考古学とその周辺分野を切口として、地宝を通じた過去から現在につながる京都の歴史に焦点を当てたものとなっています。ぜひ一読ください。

定 価: 750円(税込)
体 裁: A5版 並製 ブックレット 112頁
発 行: 株式会社白川書院

立命館慶祥中学校・高等学校ノーベル化学賞受賞記念 根岸英一氏の講演会を開催

12月25日(土)、ノーベル化学賞を受賞した根岸英一氏(米パデュー大学特別教授、北海道大学触媒化学研究センター特別招聘教授)が立命館慶祥中学校・高等学校を訪れ、生徒・保護者にむけ「夢と幸せを求めて」と題して講演。根岸氏は、「みなさんは、学問でも芸術でも

スポーツでもどんな分野でもいいので、まず得意分野で1,000人の中で1番になることを目標にしてほしい。ここから自分の適性が見えてくるはず」と激励のメッセージを述べました。講演後には、化学室で生徒たちとの交流も行われました。



立命館高等学校 高校生による科学技術コンテストで 木村麻里さんが文部科学大臣賞を受賞

科学技術の将来を担う高校生の育成を目的とした自由研究コンテスト「第8回ジャパン・サイエンス&エンジニアリング・チャレンジ(JSEC)」の最終審査が12月11日(土)に日本科学未来博物館で行われ、立命館高校スーパーサイエンスコース3年の木村麻里さんが、最優秀にあたる文部科学大臣賞を受賞しました。

木村さんの研究テーマは「折り紙を用いた多面体の切断・分割と空間の充填」。テーマの斬新さと発想の柔軟さ、地道な研究活動などが審査員から評価されました。



2010年度 定年退職教員紹介

大学・大学院教員のみご紹介いたします。 ※敬称略

【立命館大学】

法学部	教授	大平祐一	産業社会学部	教授	金井淳二	総合理工学院理工学部	教授	浮田宏生
法学部	教授	徐 勝	産業社会学部	教授	草深直臣	総合理工学院理工学部	教授	酒井達雄
法学部	教授	中島茂樹	産業社会学部	教授	篠田武司	総合理工学院理工学部	教授	名西徳之
法学部・公務研究科	教授	水口恵人	産業社会学部	教授	深澤 敦	総合理工学院理工学部	教授	早川 清
経済学部	教授	岩田勝雄	文学部	教授	本田 治	総合理工学院理工学部	教授	山田廣成
経済学部	教授	内山 昭	文学部	教授	松田 憲	総合理工学院理工学部	教授	山田廣成
経営学部	教授	田中照純	文学部	教授	村島義彦	法務研究科	教授	松井芳郎
経営学部	教授	松井敏邇	政策科学部・言語教育情報研究科	教授	RATZLAFF GORDON L.			

【立命館アジア太平洋大学】

アジア太平洋学部	教授	EADES JEREMY S.
アジア太平洋学部	准教授	小竹裕一

立命館創始140年・学園創立110周年・APU開学10周年記念企画

2010年は、西園寺公望が私塾「立命館」を創始して140年、中川小十郎が立命館大学の前身となる「私立京都法政学校」を設立して110周年、立命館アジア太平洋大学（APU）の設立から10周年を迎える年となりました。立命館では、この2010年をきっかけに様々な記念企画を実施してきました。

今回は、初めての取り組みとなる記念企画の公募も行い、多くの提案の中から110周年に相応しい学生公募企画14件、全体企画32件を採択しました。

今号では2010年12月から2011年2月末までに開催された企画の一部をご紹介します。



MovE♪

「Rits日本列島はみだせ音楽園祭」
～限りない草原へと踏込む人に～

12月21日(火)、びわこ・くさつキャンパスのセントラルアークで学生団体MovE♪が音楽祭を開催し、110周年オリジナルの歌を会場に集まった約100名の学生が全員で歌い上げました。

全学自治会平和委員会

「平和と民主主義」を学生の立場からあらためて考える

12月6日(月)から12日(日)にかけて「学生の『平和と民主主義』～立命館大学から『現代の平和』への発信～」を全学自治会平和委員会が企画・実施しました。

企画は、「紛争と平和構築」をテーマに討論合宿をおこなう「PEACE CAMP」、合宿の成果を発表する「公開プレゼンテーション」、フォトジャーナリスト久保田弘信氏による紛争の現実等をテーマにした講演会、写真展など様々な形で実施されました。



立命館大学外国人観光プロジェクト

大学生による
「京都の魅力」発見・発信プロジェクト

12月25日(土)、学生団体立命館大学外国人観光プロジェクトが「観光情報発信 学生企画シンポジウム」を京福電鉄(嵐電)と共催で実施し、観光に関わる活動を行う学生諸団体6組が学生の観点から京都観光情報を発信しました。



立命館宇治高等学校
高校生国際フォーラム

立命館宇治高等学校は、「高校生国際フォーラム」を2月18日(金)から22日(火)にかけて開催しました。

フォーラムには世界11カ国・地域から約200名の高校生が参加。「グローバル化とその影響」「環境・エネルギー」「貧困と経済格差」「平和と核兵器」をテーマに世界中から集まった高校生が議論を繰り広げました。国ごとの意見の違いや歴史的背景等を学び合い、国境を越えて共有できることは何かを生徒たちが考える機会となりました。



+R なる人

自ら考え、行動する。
持ち味は、Borderを超える力。

内藤 洋平 さん

政策科学部4回生

2010年度 立命館大学体育会サッカー部 副キャプテン

ないとう・ようへい/立命館大学体育会サッカー部では、2年連続インカレ出場を果たす。京都サンガF.C.の2011シーズン新加入選手として内定、卒業後はプロとして活動する。彼のモットーは「常に目標を持ち、日々感謝の気持ちを忘れない」。これまで育ててくれた人たち、応援してくれた人たちがいたから今の自分があると言う。

「立命館大学サッカー部の魅力は指導者に依存せず、選手たちが考えて、自立しているところ」と、京都サンガF.C.の強化スタッフ高間武さんは語る。内藤さんが持つプレーの中で状況を判断し、流れを変える能力、“立命館大学らしさ”。これが高く評価された。

幼稚園のときにサッカーを始めた内藤さん。考えてプレーすることが多く、自由な発想が求められることに魅力を感じた。大学に入り、選手たちが主体的にチームを作っていく中でも考え続け、自分の役割を超え、周囲に影響を与えられる選手へと成長していった。

そんな内藤さんが、1、2回生の頃はサッカーに対して真剣に取り組めていなかった。「高校まではサッカーだけでしたが、大学には新しい出会いや楽しさがたくさんありました。その中で、友達と遊ぶことに目がいつたり、アルバイトに精を出している時期もありました」と振り返る。そんな中で出会ったのも、それぞれの目標に向かって頑張っている学生ばかりだった。サッカーでも大学でも周囲との距離が次第に広がっていくことに危機感を覚えながら、何も行動できずにいた。

転機は2回生の冬。恩師である高校時代のサッカー部の監督を訪問し、自分の不安な気持ちをぶつけた時だった。「このままでどうする。もう3年生だぞ。あと2年だぞ。サッカーも大学生活も中途半端でいいのか」と叱咤された。やりたいことを志して頑張っている友達や、サッカー部を日本一にしたいと目標を掲げる仲間の中で、目指すものがない自分に腹が立った。その時、大好きなサッカーに人生を掛けようと決意した。

それからサッカーに対する取り組み方が大きく変わった。休みを削り、アルバイトを辞め、プレー分析や練習に多くの時間を割いた。そうすることによって、チームに対して積極的に関わることができるようになった。練習内容や戦術について主体的に発言することで、チームを引っ張る意識を持ち始めた。

そうした中で、監督から「自分の発言に責任を持って、考えてサッカーしろ」と指導されるようになった。口に出すだけでなく行動に移すことで、最初は1人でおこなっていた休日や早朝の練習に、後輩たちも参加し、一緒に練習するようになっていった。いつしか、先輩・後輩の枠を越え、お互いの強みや弱み、感じたことを指摘しあえる関係になっていた。自分がチームを引っ張っていたつもりが、監督に見守られ、仲間と共に成長していることに気付いた。

内藤さんは言う。「サッカーに限らず立命館大学の学生には自ら考え、動き、道を切り開いていく力強さがあります。周囲との高め合いの中で自分も成長できたと思っています」。

プロの練習に参加して1ヶ月。京都サンガF.C.のグラウンドには、少し緊張した面持ちで練習に励む内藤さんがいた。その傍らで高間さんは話す。「彼はチームを良くするために、考え、発言していける選手。今はまだ控え目にやっていますが、グラウンドの内・外、先輩・後輩に関わらず自分を積極的に表現し、他の選手に良い影響を与えてほしい」。

これからプロの道を歩む内藤さん。「常に目標を持ち、選手としてチームに貢献する中で、一步一步成長していきたいと思っています」と力強い眼差しで決意を語った。

🏆 2011 Jリーグディビジョン2 京都サンガF.C.の公式試合

節	開催日	キックオフ	対戦カード	スタジアム
3	3/20(日)	13:00	vs 東京ヴェルディ	味の素スタジアム
4	3/26(土)	13:00	vs 愛媛FC	西京極総合運動公園
5	4/ 3(日)	16:00	vs ジェフユナイテッド千葉	フクダ電子アリーナ
6	4/10(日)	16:00	vs コンサドーレ札幌	西京極総合運動公園
7	4/17(日)	13:00	vs 湘南ベルマーレ	平塚競技場

第8節以降の試合日程は「Jリーグ公式サイト」をご覧ください。▶ <http://www.j-league.or.jp/>



立命館大学体育会サッカー部のメンバー

校友会・グループ インフォメーション

校友会・グループ	日時	会場	問い合わせ先
奈良県校友会天理わだつみ会総会	5/7(土) 14:00	ウェルカムハウスコトブキ	弓仲 弘司 0743(62)0198
静岡県校友の集い2011	5/14(土) 14:00	フジホワイトホテル	大石 育三 0545(63)8984
奈良県北部校友会平成23年度総会	5/15(日) 16:00	ホテル日航奈良	寺田 惇 090(5971)9752
第5回立命寄席	5/21(土) 18:30	天満天神繁昌亭	校友会事務局 075(813)8216
奈良県校友会総会	6/18(土) 14:00	橿原ロイヤルホテル	福井 徳丞 0744(22)1697
神奈川県校友の集い(総会&懇親会)	7/2(土) 16:00	崎陽軒本店	長谷川貞栄 045(933)4662
香川県校友会総会	7/9(土) 未定	ホテルパールガーデン	穴吹 学 087(862)3565

校友消息(判明分)

叙勲2010年秋

瑞宝小綬章

高井正文氏('60法)
元岐阜県総務部長

就任(内定含む)

谷川 隆氏('66経済)
(株)日商社社長
2月21日就任

山下史守朗氏('00政策)
小牧市長
2月26日就任

土肥智雄氏('01経営)
日本パワーファスニング(株)
代表取締役社長
3月29日就任予定

竹田知史氏('77経営)
蒲郡信用金庫理事長
4月1日就任予定

三浦芳彦氏('74理工)
ルネサスエレクトロニクス販売(株)
代表取締役社長
4月1日就任予定

村上健治氏('70産社)
大和ハウス工業(株)
代表取締役副会長
4月1日就任予定

訃報

中川誠二氏('56法)
(校友会顧問、元監事)
12月27日ご逝去。76歳

清野博之氏('81産社)
(福井県校友会幹事)
1月18日ご逝去。52歳

竹上和夫氏('46法)
(立命館館友・元理事、元評議員)
1月30日ご逝去。90歳

荘田新次氏('62経済)
(高槻島本校友会会長)
1月31日ご逝去。



BOOKS

校友会へご惠贈下さいました本の中から紹介させていただきます。

- ◆西垣義明氏('65法)著
『正しく生きるためのモラル実践規範・三六五日
確実に正しい言動が身につく心の手帖』
市田印刷出版*1200円+税
- ◆大野進一氏('93理工)共著
『図解 問題解決に役立つ購買管理』
誠文堂新光社*1800円+税
- ◆川村匡由氏('69文)著
『人生100年“超”サバイバル法』
久美出版*1900円+税
- ◆角本紗織理氏('01産社)著
『あなたの恋がかなう本』
学研教育出版*1300円+税
- ◆唐沢 稜氏('69文)著
『はじめての不動産投資で成功する本』
自由国民社*1500円+税
- ◆上西節雄氏('70文)著
『やきものの風景
—地方学芸員の宝探し—』
自費出版

立命館大学入学式のご案内

日時:4月4日(月)開場13時、開式14時(予定)
会場:京セラドーム大阪(入場無料)

- 参観お申し込み方法
電話、FAX、電子メールのいずれかにて、入学式参観希望の旨をご明記の上、住所、氏名、卒年、学部を校友会事務局にお知らせ下さい(事務局連絡先は冊子の裏表紙をご覧ください)。
- 締切:3月31日(木)事務局必着
※お申込みなき方にはご参観いただけません。

立命館大学国際平和ミュージアム企画展のご案内

第62回ミニ企画展示

第16回ミュージアムロード参加企画
「資料で見る
京都の観光と絵葉書」
現在の京都の町並みや観光都市としての京都の姿は、20世紀初頭には出来あがっていました。今展では、国際平和ミュージアムが収蔵する絵葉書を通して、明治期から昭和10年代の京都の様子を紹介します。

第63回ミニ企画展示

「ジャック・サル展
—De/Portees 強制収容—」
イタリアからナチの強制収容所や絶滅収容所に送られたイタリア人とユダヤ人の運命を示し、歴史的な反省を促すことを意図したジャック・サルによるインスタレーション作品です。

2011年春季特別展

「世界187の顔
—生命の現場から—」

学校に行くことができずに路上で雑貨を売る姉弟、2時間かけて家まで水を運ぶ少女...「世界187の顔」約130枚のパネルに映る「顔」は、平和とは何かを考えさせられる作品にあふれています。これらを通じて、それが撮影された地域の状況について知るきっかけになることを願い開催します。



綿井健陽 JVJA提供

※以降、ミニ企画展示では、第64回「フィリピンスタディーツアー報告展」、第65回「WORLD CHILDREN PHOTO PROJECT」展を予定しています。

会期

- 第62回 ミニ企画展示 「資料で見る京都の観光と絵葉書」
開催中～3月31日(木)
- 第63回 ミニ企画展示 「ジャック・サル展—De/Portees 強制収容—」
2011年4月15日(金)～5月4日(水)
- 2011年 春季特別展 「世界187の顔—生命の現場から—」
2011年5月17日(火)～7月10日(日)

開館時間

午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)

休館日

月曜日(祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日

観覧料

一般400円(350円) / 中・高生300円(250円) / 小学生200円(150円)
()は20名以上の団体料金

常設展示(地階・2階)は上記展示期間以外でも見学することができます。

立命館大学国際平和ミュージアム
特別展・常設展
校友招待券
2011年6月30日(木)まで
有効期間
(仮設・臨時館に設置した時限り)
校友会事務局「1022号」
No.244

全国 「りつめい」愛読者の皆さん！お元気でしょうか。今号は『巻頭企画』の川口新総長と山中会長の新中期計画のプロジェクト「R2020」をはじめ、教育の国際化、関西の経済とのつながりなど近未来を展望する学園方針をお読み頂き、共に未来を語りましょう。30万人に及ぶ校友の中には地味ですが31年間黒字経営のトップとして活躍するOBがいます。『りつめいインタビュー』の齋藤茂氏の取材を通して常に「緑の下の力持ち」を標榜しながら、明るく穏やかで力強い生き方を学びました。

現役学生の活躍を応援した昨年12月19日の『甲子園ボウル』では、筆者は仲間と共に甲子園球場に参加し、久々の熱気をかち合いました。校友が、それぞれの場で、可能な絆を深めましょう。

(KAZ中村)

祝、新幹線鹿児島開通。カウントダウン“60日”の電飾ボード、が鹿児島市内に誇らしげに設けられていた。この冊子が発刊するころは、地元念願の新幹線が鹿児島中央駅に到着しているだろう。今号紹介の鹿児島県校友会会長インタビュー同行取材に年明け早々、鹿児島に飛んだ。意に反して(?)寒風吹きすさぶ中、桜島を望むベストロケーションの南日本新聞社へ。諸先輩方に直接、お目にかかり、お話を伺うことで、あらためて、立命ネットワークの大きさを実感する。社会人になり、ウン十年。立命館に学んでよかった、と思う瞬間に多く出会う。前日は、大阪から、高速1000円の恩恵で富士山を眺めてUターン、来週は、シンガポールにできる巨大画廊の取材に入る。今年もフットワーク軽くをモットーに。

(高橋英子)

新校 友を迎える春の場にふさわしくない文章をまずお許し下さい。

昨夏、父 宮西寅生を84歳で亡くしました。昭和元年生まれの父は、附属校勤務の叔父を頼り大分から上京・入学、学徒動員された横須賀で多くの友を失いました。平和への思いを胸に立命館大学を卒業後、母校の図書館に勤務し、30代で60年安保の洗礼を受け、40代の学園紛争では職場に泊り込む毎日でした。バブル期には記念事業のため企業訪問を担当し、激動の昭和を立命館と共に歩みました。

その後は、大学で司書講師をしながら発展する学園のことをいつも話していました。父子二代に亘り「職員子弟」の私も母校への思いは人一倍強いつもりです。父亡き後も微力ながら立命館の「今」を皆様にお伝えして参りたいと思っています。

(宮西徳明)

職務 上、編集に携わっておられる方とお話する事がある。その方々の言に「発行物はまず編集後記から読む。編集後記が面白くないければ本文はあまり読まない。逆に面白いものだと必然的に本文も興味深い内容になっている」と。この言葉は私の頭からいつも離れず、編集後記執筆の順番が来る度に少し緊張感を感じる。そんな中でもどうしても取り上げたいのは大卒就職率の厳しさである。先日現役生と話す機会があり卒業間近にもかかわらずまだ求職中との事であった。こういった時だからこそ、何とか校友ネットワークが威力を発揮出来るシステムが構築出来ないか？ また広報誌を通じてでも情報を得てもらい将来に繋げる事が出来ないか？ 編集委員だけでなく、多くの校友がそう願って今、応援をしている。

(乾)

堂本印象美術館企画展のご案内

企画展

「人を描くー情景から造形へ」

およそ半世紀にわたる画業において様々な画風を変貌させた堂本印象。花鳥画をはじめ、風景画、人物画、仏画など日本の伝統的なモチーフを描く一方、戦後には抽象絵画へと華麗な展開を遂げることで世間を驚かせました。本展では、実在した人物像からモチーフとしての人体表現にいたるまで、印象が描いた「人」の多彩な表現に迫ります。自らのイメージを表現するために、生涯にわたって様々な形態を求めた画家の側面を、描かれた「人」を通して紹介します。

●ミニ企画展：印象のペン画

1952年に渡欧した自らの体験をまとめ、1955年に発表した『美の聲音(あしおと)ーヨーロッパ美術紀行』の挿絵原画を展示します。ヨーロッパの名所や街頭をモノクロームで表現したペン画の数々を紹介します。



「春」1927年

企画展(予定)

「うつろいゆく時の詩ー四季の情景」(仮)

印象が描いた季節の風物にまつわる作品をとりあげ、その多彩で独自の自然表現を紹介します。

●ミニ企画展：印象の模写(仮)

大分県・富貴寺本堂の壁画や源氏物語絵巻など、古画の模写作品を紹介します。

会期

企画展

「人」を描くー情景から造形へ
開催中～2011年5月29日(日)

企画展(予定)

「うつろいゆく時の詩ー四季の情景」(仮)
2011年6月3日(金)～8月7日(日)

開館時間

午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日

月曜日(祝日の場合はその翌日)※5/30(月)～6/2(木)は、展示入れ替えのため休館

観覧料

一般500円(400円)／高校・大学生400円(320円)／小・中学生200円(160円)
()は20名以上の団体料金
65歳以上の方(要証明)および障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料

堂本印象美術館
特別展・常設展
2011年6月30日(水)まで
有効期間
「うつろいゆく時の詩」
No.244